

1. 卒業の要件 (学則第 19 条)

本学を卒業し学士の学位を得るためには、学生は 4 年以上在学し、次の基準及び卒業単位一覧表に基づいて、124 単位以上を履修しなければなりません。

(1) 共通基礎科目

総合科目として「人間学Ⅰ」4 単位及び「人間学Ⅱ」4 単位の計 8 単位、大学導入科目として「学びの発見」2 単位、第 1 外国語として「英語」4 単位、並びに第 2 外国語として「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」又は「日本語」(外国人留学生に限る。)のうち、いずれか 1 カ国語 4 単位、合計 18 単位を履修しなければなりません。

(2) 学科専門科目

学科専門科目は、計 66 単位(社会学科社会福祉学コース、教育・心理学科は計 82 単位)を履修しなければなりません。

(3) 現代総合科目

現代総合科目は、コミュニケーション系、キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ 4 単位、合計 16 単位(社会学科社会福祉学コース、教育・心理学科は不要)を履修しなければなりません。

(4) 自己選択科目

自己選択科目は、学科専門科目及び現代総合科目で必要単位数以上履修した単位並びに他の大学等で修得し認定された単位を合計して、24 単位以上を履修しなければなりません。

詳細については、第 2 章「4. 学科別卒業単位配当表」、第 5 章「1. 大谷大学文学部履修規程」を参照してください。

【卒業単位一覧表】

科目群		学科								
		真宗 学科	仏教 学科	哲学科	社会 学科	歴史 学科	文学科	国際 文化 学科	人文 情報 学科	教育・ 心理 学科
共通 基礎 科目	総合科目	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	大学導入	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	第 1 外国語	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	第 2 外国語	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	小計	18	18	18	18	18	18	18	18	18
学 科 専 門 科 目	学科導入	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	演習	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	概論	4	4	8	4	6	8	4	4	8
	講義	18	18	22	24 又は 42	20	20	24	16	30
	実践研究	18	18	10	10 又は 12	14	12	12	20	18
	卒業論文	8	8	8	8	8	8	8	8	8
小計	66	66	66	66 又は 82	66	66	66	66	82	
現 代 総 合 科 目	コミュニケーション系	4	4	4	0 又は 4	4	4	4	4	—
	キャリア形成系	4	4	4	0 又は 4	4	4	4	4	—
	自然生命系	4	4	4	0 又は 4	4	4	4	4	—
	歴史文化系	4	4	4	0 又は 4	4	4	4	4	—
	小計	16	16	16	0 又は 16	16	16	16	16	—
自己選択科目	24	24	24	24	24	24	24	24	24	
合 計	124	124	124	124	124	124	124	124	124	

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

卒業要件及び開講科目

単位制

単位修得の認定

学科別卒業単位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎科目外国語

現代総合科目・自己選択科目

スポーツ科目

国際交流科目

コンソーシアム単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部履修規程

文学部進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派教師課程

社会教育課程【任用資格】

社会福祉士国家試験受験資格課程

初級スポーツ指導員

日本心理学会認定心理士

社会福祉主事【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者一覧表

2. 単位制 …45 時間の学修で 1 単位！

大学における授業はその学修量を「単位」という言葉で表します。「1 単位の授業科目」は「45 時間の学修を必要とする内容（自学自習時間を含む）」をもって構成することが標準となっています。

$$1 \text{ 単位} = \text{授業時間} + \text{準備学習復習} = 45 \text{ 時間}$$

本学の授業は 1 セメスターを 15 週として前期・後期に分かれています。週 1 回あたりは各授業とも 1 時間 30 分ですが、制度上これを 2 時間として計算します。

各科目の単位数は、この授業時間数と自習時間数、そして 1 単位あたりの学修量をもとに次のように計算します。

<学修量と単位数の例> ※授業時間について、講義・演習は 15 時間、外国語・実習・実技は 30 時間で計算した場合です。

授業種別	1 週あたりの学修量	1 セメスター	学期学修量	1 単位あたりの学修量	単位数
講義・演習	授業 2 時間 + 自習 4 時間 = 6 時間 [実質 90 分]	15 週	90 時間	45 時間	2
外国語 実習・実技	授業 2 時間 + 自習 1 時間 = 3 時間 [実質 90 分]	15 週	45 時間	45 時間	1

講義・演習

原則として、15～30 時間の授業時間と自習時間を合わせた 45 時間の学修をもって 1 単位とします。

外国語・実習・実技

原則として、30～45 時間の授業時間と自習時間を合わせた 45 時間の学修をもって 1 単位とします。

授業時間

時限	1	2	昼休み	3	4	5	6
時間	9:00～10:30	10:40～12:10	12:10～13:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30

3. 単位修得の認定

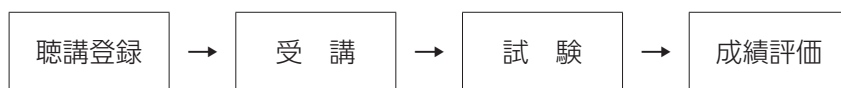
[1] 授業科目の単位の修得（聴講登録から成績評価まで）

本学では、学年始めに1年間の学習計画を立て、各学期で履修しようとする授業科目について、定められた期日に届出をすることになっています。これを「聴講登録」と呼びます。「聴講登録」した科目のみ試験を受けることができ、単位を修得することになります。したがって、未登録や、間違った場合（登録エラー）は、たとえ授業を受けても受験資格が与えられません。

また、本学では、「単位修得の認定」について「授業科目を履修し、授業に3分の2以上出席した者には、認定の上、所定の単位を与える。」（学則第26条）と規定しています。

すなわち、**聴講登録し、受講（授業に出席）した上で試験を受け、合格点（60点以上）を得られればその科目の単位が認定される**ということになります。

なお、卒業に必要な科目で前期にしか開講されていない科目や、同様に後期にしか開講されていない科目があります。それらの科目が不合格になると、4年間で卒業できなくなるおそれがありますので十分注意してください。



※ 詳細については、「第3章 聴講登録」「第4章 成績評価」を参照してください。

[2] その他の単位の認定（第5章「1. 文学部履修規程」参照）

本学では「授業科目の単位の修得」の他に、以下の単位の認定を行っています。

① 入学前の既修得単位の扱い

入学前に修得済みの単位（大学、短大、高専及び専修学校の専門課程のものに限る）又は高等学校の専攻科及び中等教育学校の後期課程の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の基準を満たすものに限る）があれば、申請により卒業所要単位の一部として認定することができます。

ただし、
a. 40単位が上限
b. 入学した年度当初にのみ認定

となりますので、本年度入学生で該当する希望者は、4月のオリエンテーション期間中に教務課で申請の手続きをしてください。

なお編入学生の単位については、取り扱いが異なります。詳しくは4月のオリエンテーションで説明します。

② 在学中の他の大学又は短期大学の授業科目の履修

在学中に他の大学又は短期大学の授業科目を履修し、単位を修得すれば、申請により卒業所要単位の一部として認定することができます。

ただし、
a. 40単位が上限
b. ①の「入学前の既修得単位」を認定されている人は、その単位も合わせて40単位が上限
c. 認定は単位を修得した当該学期末

となります。希望者は各学期毎に教務課で手続方法を確認してください。

ただし、指定の期日に手続きが間に合わない場合は、事前に教務課まで相談に来てください。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

在学中に他の大学又は短期大学の授業科目を履修するには…

A. 「大谷大学短期大学部」との単位互換制度

開講科目表の互換科目等欄に「(短)」 「(互)」があるものは、次の内容を表します。

(短) = 文学部の開講科目で短期大学部に開放する科目

(互) = 短期大学部の開講科目で文学部に開放されている科目

登 録

(短) (互) の科目とも、他の科目と同様に聴講登録します。

受 講

開講科目は1つですので、文学部・短期大学部両方の学生が受講する合同授業となります。

単位認定：(短) (互) 科目の単位認定の違い

(短) 科目は、文学部の開講科目のため、他の科目と同様に単位認定されます。

(互) 科目は、短期大学部の開講科目のため、前ページ [2] の②での取り扱いになります。既に上限 40 単位の単位認定を受けている場合は、認定対象になりません (卒業所要単位として使えません)。ただし、履修結果 (評価) については履修単位通知書で通知します。

※(短) (互) 科目の単位認定については、申請の手続きは必要ありません。

※文学部の学生は、「単位互換制度」で指定された科目以外の短期大学部の科目や大学院の科目を登録することはできません。登録するとエラーになります。ただし、短期大学部の科目を「科目等履修生」として申し込み (有料) をした場合は、この限りではありません。

B. 大学コンソーシアム京都「単位互換制度」

公益財団法人大学コンソーシアム京都の単位互換協定を締結している、他大学・短期大学の科目を受講することができます。この制度で受講した科目の単位は、前ページ [2] の②の単位として認定できます。

(手続き等の詳細については、4月のオリエンテーション期間に説明会を行います。)

C. 科目等履修生制度

「科目等履修生制度」を設けている大学・短期大学の科目等履修生となり、単位を修得する方法です。この単位も原則として前ページ [2] の②の単位として認定できます。

(詳細については、各大学に確認してください。)

D. 留学制度

本学の留学規程に則って海外留学が認められた場合、留学中に海外の大学・短期大学で修得した単位は、前ページ [2] の②の単位として認定することができますので、教務課で手続方法を確認してください。

(留学制度全般に関することは GLOBAL SQUARE [慶園館 1 階] で相談してください。)

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

[2] 受講科目の選択について

「学科別卒業単位配当表」をもとに実際の受講科目を選ぶためには、今年度開講される科目が記載されている第2章「6. 開講科目表」と、「OTANI UNIPA」を参照してください。

授業の内容については「授業計画(Web シラバス)」で確認してください。

A. 共通基礎科目 は…

1. 「開講科目表」の「共通基礎科目」のページから選んでください。
2. 人間学Ⅱ以外は、クラス指定がされていますので、掲示等で確認のうえ、指定されたクラスを登録してください。

B. 学科専門科目 は…

「開講科目表」の「〇〇学科」のページから選んでください。

C. 現代総合科目 は…

「開講科目表」の「現代総合科目」のページから幅広く選んでください。

D. 自己選択科目 は…

1. 「開講科目表」から幅広く選んでください。
2. 他学科の「学科専門科目」から、開講科目表の右側の「他学科」の区分欄が○の科目に限り履修できます。ただし、共通基礎科目及び学科専門科目の「学科導入」「演習」「卒業論文」は、最低履修単位数以上に履修しても自己選択科目の単位にはなりません！
3. 所属する学科の「学科専門科目」内の「概論」「講義」「実践研究」、及び「現代総合科目」を所要単位数以上に履修した場合も、自己選択科目の単位として集計します。

[3] 履修学年配当について

「卒業単位配当表」に記されている履修学年配当の中に、「1～4」「2～4」など幅のある科目区分があります。「開講科目表」の学年配当に従って登録・履修してください。

〈真宗学科〉

[2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

真宗学コースは、2015年度入学生・2017年度編入学生適用

区 分		真宗学コース・思想探究コース・ 現代臨床コース・国際コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ	11011	4	1		
		人間学Ⅱ	11012	4	2~4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
小 計				18			
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<真宗学>	12111	2	1		
	演 習	真宗学演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		真宗学演習Ⅱ	12152	4	2		
		真宗学演習Ⅲ	12153	4	3		
		真宗学演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	真宗学概論	12311	4	3~4		
	講 義	A	親鸞の生涯と思想	12321	12	1~4	仏教学科と共通
			親鸞思想の受容と展開			1~4	
			曇鸞の生涯と思想			2~4	
	善導の生涯と思想		2~4				
	法然の生涯と思想		1~4				
	近代真宗教学論		2~4				
	『教行信証』論		2~4				
	『歎異抄』論		1~4				
大乘仏教概説	2~4						
真宗と諸宗教	2~4						
日本仏教思想史	2~4						
現代と真宗	2~4						
真宗学特殊講義	2~4						
B	浄土教史概説	12322	4	2~4			
	真宗教団史						
	近代教学史						
C	宗教学概説	12323	2	1~4			
	宗教史概論						
実 践 研 究	A	教行信証<総序・教巻>を読む	12331	8	3~4		
		教行信証<行巻>を読む					
教行信証<信巻>を読む							
教行信証<証巻>を読む							
教行信証<真仏土巻>を読む							
教行信証<化身土巻>を読む							
B	無量寿経を読む	12332	10	2~4			
	観無量寿経を読む			1~4			
	阿弥陀経を読む			1~4			
	浄土論註を読む			2~4			
	観経疏を読む			2~4			
	正信偈を読む			2~4			
	真宗学特殊演習			2~4			
卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出		
小 計				66			
現代 総合 科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
	小 計				16		
自己選択科目			13000 13100	24	1~4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

卒業要件及び開講科目

単位制

単位修得の認定

学科別卒業単位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎科目外国語

現代総合科目・自己選択科目

スポーツ科目

国際交流科目

コンソーシアム単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部履修規程

文学部進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派教師課程

社会教育課程【任用資格】

社会福祉士国家試験受験資格課程

初級スポーツ指導員

日本心理学会認定心理士

社会福祉主事【任用資格】

開講科目表

科目担当者一覧表

巻末

〈真宗学科〉 学科専門科目対照表

[2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分		卒業単位配当表に書かれている科目名称	2018年度開講科目名称	開講	
学科専門科目	学科導入	専門の技法<真宗学>	専門の技法<真宗学> 1	真宗	
	演習	真宗学演習Ⅰ 真宗学演習Ⅱ 真宗学演習Ⅲ 真宗学演習Ⅳ	真宗学演習Ⅰ 真宗学演習Ⅱ 真宗学演習Ⅲ 真宗学演習Ⅳ		
	概論	真宗学概論	真宗学概論1 真宗学概論2 真宗学概論3 真宗学概論4		
	講義	A	親鸞の生涯と思想 親鸞思想の受容と展開 曇鸞の生涯と思想 善導の生涯と思想 法然の生涯と思想 近代真宗教学論 『教行信証』論 『歎異抄』論 大乘仏教概説 真宗と諸宗教 日本仏教思想史 現代と真宗 真宗学特殊講義		親鸞の生涯と思想 親鸞思想の受容と展開 法然の生涯と思想 『教行信証』論 『歎異抄』論 大乘仏教概説 真宗と諸宗教 日本仏教思想論1 現代と真宗 真宗学特殊講義1 真宗学特殊講義2
		B	浄土教史概説 真宗教団史 近代教学史 真宗典籍研究		浄土教史概説 真宗教団史 近代教学史 真宗典籍研究
		C	宗教学概説 宗教史概論		宗教学概説 宗教史概論1 宗教史概論2
	実践研究	A	教行信証<総序・教巻>を読む 教行信証<行巻>を読む 教行信証<信巻>を読む 教行信証<証巻>を読む 教行信証<真仏土巻>を読む 教行信証<化身土巻>を読む		教行信証<総序・教巻>を読む 教行信証<行巻>を読む 教行信証<信巻>を読む 教行信証<真仏土巻>を読む 教行信証<化身土巻>を読む
		B	無量寿経を読む 観無量寿経を読む 阿弥陀経を読む 浄土論註を読む 観経疏を読む 正信偈を読む 真宗学特殊演習		浄土経典を読む1 浄土経典を読む3 浄土論註を読む 観経疏を読む 選択集を読む 正信偈を読む 欧文仏典を読む1 欧文仏典を読む2 真宗学特殊演習1 真宗学特殊演習2 真宗学特殊演習3 真宗学特殊演習4
	卒業論文	卒業論文	卒業論文		

＜注意事項＞

1. 2018年度よりカリキュラムの変更を行いました。
2. 2015年度以降 2017年度以前入学生は、前頁の学科別卒業単位配当表に従って科目を履修してください。
3. カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
4. 2017年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
5. 不明な点等があれば、Web聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈真宗学科〉 [2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

区 分		真宗学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ	11011	4	1		
		人間学Ⅱ	11012	4	2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
小 計				18			
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<真宗学>	12111	2	1		
	演 習	真宗学演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		真宗学演習Ⅱ	12152	4	2		
		真宗学演習Ⅲ	12153	4	3		
		真宗学演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	真宗学概論	12311	4	3～4		
	講 義	A	親鸞の生涯と思想	12321	14	1～4	仏教学科と共通
			親鸞思想の受容と展開			1～4	
	曇鸞の生涯と思想		2～4				
	善導の生涯と思想		2～4				
	法然の生涯と思想		1～4				
近代真宗教学論	2～4						
『教行信証』論	2～4						
『歎異抄』論	1～4						
大乘仏教概説	2～4						
真宗と諸宗教	2～4						
日本仏教思想史	2～4						
現代と真宗	2～4						
真宗学特殊講義	2～4						
B	浄土教史概説	12322	4	2～4			
	真宗教団史 近代教学史 真宗典籍研究						
実 践 研 究	A	教行信証<総序・教巻>を読む	12331	8	3～4		
		教行信証<行巻>を読む					
教行信証<信巻>を読む							
教行信証<証巻>を読む							
教行信証<真仏土巻>を読む							
教行信証<化身土巻>を読む							
B	無量寿経を読む	12332	10	2～4			
	観無量寿経を読む			1～4			
	阿弥陀経を読む			1～4			
	浄土論註を読む			2～4			
	観経疏を読む			2～4			
	正信偈を読む			2～4			
真宗学特殊演習	2～4						
卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出		
小 計				66			
現 代 総 合 科 目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
小 計				16			
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

科目担当者
一覧表

巻末

〈真宗学科〉 学科専門科目対照表

[2013 年度以降 2014 年度以前入学生・2015 年度以降 2016 年度以前編入学生適用]

区 分		卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018 年度開講科目名称	開講		
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<真宗学>	専門の技法<真宗学> 1	真宗		
	演 習	真宗学演習Ⅰ 真宗学演習Ⅱ 真宗学演習Ⅲ 真宗学演習Ⅳ	真宗学演習Ⅰ 真宗学演習Ⅱ 真宗学演習Ⅲ 真宗学演習Ⅳ			
	概 論	真宗学概論	真宗学概論 1 真宗学概論 2 真宗学概論 3 真宗学概論 4			
	講 義	A	親鸞の生涯と思想 親鸞思想の受容と展開 曇鸞の生涯と思想 善導の生涯と思想 法然の生涯と思想 近代真宗教学論 『教行信証』論 『歎異抄』論 大乘仏教概説 真宗と諸宗教 日本仏教思想史 現代と真宗 真宗学特殊講義		親鸞の生涯と思想 親鸞思想の受容と展開 法然の生涯と思想 『教行信証』論 『歎異抄』論 大乘仏教概説 真宗と諸宗教 日本仏教思想論 1 現代と真宗 真宗学特殊講義 1 真宗学特殊講義 2	
		B	浄土教史概説 真宗教団史 近代教学史 真宗典籍研究		浄土教史概説 真宗教団史 近代教学史 真宗典籍研究	
	実 践 研 究	A	教行信証<総序・教巻>を読む 教行信証<行巻>を読む 教行信証<信巻>を読む 教行信証<証巻>を読む 教行信証<真仏土巻>を読む 教行信証<化身土巻>を読む		教行信証<総序・教巻>を読む 教行信証<行巻>を読む 教行信証<信巻>を読む 教行信証<真仏土巻>を読む	
		B	無量寿経を読む 観無量寿経を読む 阿弥陀経を読む 浄土論註を読む 観経疏を読む 正信偈を読む 真宗学特殊演習		浄土経典を読む 1 浄土経典を読む 3 浄土論註を読む 観経疏を読む 選択集を読む 正信偈を読む 欧文仏典を読む 1 欧文仏典を読む 2 真宗学特殊演習 1 真宗学特殊演習 2 真宗学特殊演習 3 真宗学特殊演習 4	
	卒 業 論 文		卒業論文		卒業論文	

＜注意事項＞

1. 2018 年度よりカリキュラムの変更を行いました。
2. 2013 年度以降 2014 年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
3. カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018 年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
4. 2017 年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
5. 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈仏教学科〉

[2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区 分		現代と仏教コース 文化美術コース 仏教思想コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計				18		
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法〈仏教学〉	12111	2	1		
	演 習	仏教学演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		仏教学演習Ⅱ	12152	4	2		
		仏教学演習Ⅲ	12153	4	3		
		仏教学演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	仏教学概論	12311	4	1～4		
	講 義	A	現代仏教論 仏教文化美術論 仏教テキスト論 インド仏教思想史 中国仏教思想史 日本仏教思想史	12321	10	1～4 1～4 1～4 2～4 2～4 2～4	
		B	インド哲学 チベット仏教 死生学 仏教心理学 仏教と社会 仏教神話学 仏教学特殊講義 宗教学概説 宗教史概論	12322	8	3～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 ※ 1～4 1～4	哲学科と共通 真宗学科と共通 真宗学科と共通
	実 践 研 究	A	仏教学基礎演習	12331	2	1	
		B	現代仏教演習 文化美術演習 仏教思想演習 仏伝を読む 浄土経典を読む 法華経を読む 仏教学特殊演習 漢文文献演習 パーリ語文献演習 サンスクリット語文献演習 チベット語文献演習	12332	14	※	
		C	パーリ語 サンスクリット語入門 サンスクリット語 チベット語入門 チベット語	12333	2	2～4 1～4 1～4 2～4 2～4	
	卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出	
	小 計				66		
現代総合科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
小 計				16			
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

科目担当者
一覧表

巻末

〈仏教学科〉 学科専門科目対照表

[2015 年度以降 2017 年度以前入学生・2017 年度以降 2019 年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に書かれている 科目名称		2018 年度開講科目名称	開講
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<仏教学>		専門の技法<仏教学> 1
	演 習	仏教学演習 I 仏教学演習 II 仏教学演習 III 仏教学演習 IV		仏教学演習 I 仏教学演習 II 仏教学演習 III 仏教学演習 IV
	概 論	仏教学概論		仏教学概論 1 仏教学概論 2 仏教学概論 3 仏教学概論 4
	講 義	A	現代仏教論 仏教文化美術論 仏教テキスト論 インド仏教思想史 中国仏教思想史 日本仏教思想史	現代仏教論 仏教文化美術論 インド仏教思想論 2 中国仏教思想論 2 日本仏教思想論 1
		B	インド哲学 チベット仏教 死生学 仏教心理学 仏教と社会 仏教神話学 仏教学特殊講義 宗教学概説 宗教史概論	インド学 死生学 地域仏教論 仏教学特殊講義 1 仏教学特殊講義 2 仏教学特殊講義 3 仏教学特殊講義 4 宗教学概説 宗教史概論 1 宗教史概論 2
		A	仏教学基礎演習	仏教学基礎演習 1
	実 践 研 究	B	現代仏教演習 文化美術演習 仏教思想演習 仏伝を読む 浄土経典を読む 法華経を読む 仏教学特殊演習 漢文文献演習 パーリ語文献演習 サンスクリット語文献演習 チベット語文献演習	現代仏教演習 文化美術演習 地域仏教演習 初期仏典を読む 浄土経典を読む 1 浄土経典を読む 3 維摩経を読む 法華経を読む 欧文仏典を読む 1 欧文仏典を読む 2 仏教学特殊演習 1 仏教学特殊演習 2 仏教学特殊演習 3 仏教学特殊演習 4 仏教学特殊演習 5 仏教学特殊演習 6
		C	パーリ語 サンスクリット語入門 サンスクリット語 チベット語入門 チベット語	パーリ語 a パーリ語 b サンスクリット語 a サンスクリット語 b 現代チベット語 a 現代チベット語 b 古典チベット語 a 古典チベット語 b
		卒 業 論 文	卒業論文	

仏教

＜注意事項＞

- 2018 年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2015 年度以降 2017 年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018 年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017 年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈仏教学科〉 [2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

区 分		現代と仏教コース 文化美術コース 仏教思想コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計				18		
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<仏教学>	12111	2	1		
	演 習	仏教学演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		仏教学演習Ⅱ	12152	4	2		
		仏教学演習Ⅲ	12153	4	3		
		仏教学演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	仏教学概論	12311	4	1～4		
	講 義	A	現代仏教論 仏教文化美術論 仏教テキスト論 インド仏教思想史 中国仏教思想史 日本仏教思想史	12321	10	1～4 1～4 1～4 2～4 2～4 2～4	
		B	インド哲学 チベット仏教 死生学 仏教心理学 仏教と社会 仏教神話学 仏教学特殊講義	12322	8	3～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 ※	哲学科と共通
	実 践 研 究	A	仏教学基礎演習	12331	2	1	
		B	現代仏教演習 文化美術演習 仏教思想演習 仏伝を読む 浄土経典を読む 法華経を読む 仏教学特殊演習 漢文文献演習 パーリ語文献演習 サンスクリット語文献演習 チベット語文献演習	12332	14	※	
		C	パーリ語 サンスクリット語入門 サンスクリット語 チベット語入門 チベット語	12333	2	2～4 1～4 1～4 2～4 2～4	
	卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出	
	小 計				66		
現代 総合 科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
小 計				16			
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

科目担当者
一覧表

巻末

〈仏教学科〉 学科専門科目対照表

[2013 年度以降 2014 年度以前入学生・2015 年度以降 2016 年度以前編入学生適用]

区 分		卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018 年度開講科目名称	開講	
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<仏教学>	専門の技法<仏教学> 1	仏教	
	演 習	仏教学演習Ⅰ 仏教学演習Ⅱ 仏教学演習Ⅲ 仏教学演習Ⅳ	仏教学演習Ⅰ 仏教学演習Ⅱ 仏教学演習Ⅲ 仏教学演習Ⅳ		
	概 論	仏教学概論	仏教学概論 1 仏教学概論 2 仏教学概論 3 仏教学概論 4		
	講 義	A	現代仏教論 仏教文化美術論 仏教テキスト論 インド仏教思想史 中国仏教思想史 日本仏教思想史		現代仏教論 仏教文化美術論 インド仏教思想論 2 中国仏教思想論 2 日本仏教思想論 1
		B	インド哲学 チベット仏教 死生学 仏教心理学 仏教と社会 仏教神話学 仏教学特殊講義		インド学 死生学 地域仏教論 仏教学特殊講義 1 仏教学特殊講義 2 仏教学特殊講義 3 仏教学特殊講義 4
		A	仏教学基礎演習		仏教学基礎演習 1
	実 践 研 究	B	現代仏教演習 文化美術演習 仏教思想演習 仏伝を読む 浄土経典を読む 法華経を読む 仏教学特殊演習 漢文文献演習 パーリ語文献演習 サンスクリット語文献演習 チベット語文献演習		現代仏教演習 文化美術演習 地域仏教演習 初期仏典を読む 浄土経典を読む 1 浄土経典を読む 3 維摩経を読む 法華経を読む 欧文仏典を読む 1 欧文仏典を読む 2 仏教学特殊演習 1 仏教学特殊演習 2 仏教学特殊演習 3 仏教学特殊演習 4 仏教学特殊演習 5 仏教学特殊演習 6
		C	パーリ語 サンスクリット語入門 サンスクリット語 チベット語入門 チベット語		パーリ語 a パーリ語 b サンスクリット語 a サンスクリット語 b 現代チベット語 a 現代チベット語 b 古典チベット語 a 古典チベット語 b
		卒 業 論 文	卒業論文		卒業論文

<注意事項>

1. 2018 年度よりカリキュラムの変更を行いました。
2. 2013 年度以降 2014 年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
3. カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018 年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
4. 2017 年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
5. 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈哲学科〉 [2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区 分		西洋哲学・日本哲学コース 倫理学・人間関係学コース 宗教学・死生学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計				18		
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<哲学>	12111	2	1		
	演 習	哲学科演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		哲学科演習Ⅱ	12152	4	2		
		哲学科演習Ⅲ	12153	4	3		
		哲学科演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	哲学概論 倫理学概論 宗教学概論	12311	8	2～4	自コースの概論4単位履修を原則とする	
	講 義	A	西洋哲学史(古代) 西洋哲学史(中世) 西洋哲学史(近世) 日本哲学 人間関係学 死生学 生命倫理	12321	10	2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 1～4 1～4	
		B	論理学 宗教史 キリスト教学 哲学科特殊講義	12322	10	1～4 3～4 1～4 2～4	
		C	人文地理学 世界地誌学 法学概論 政治学概論 国際関係論 国際政治学	12323	2	2～4 2～4 1～4 1～4 3～4 3～4	社会学科と共通 社会学科と共通 社会学科と共通 社会学科と共通 社会学科と共通 社会学科と共通
	実 践 研 究	ギリシャ語入門 ラテン語入門 ギリシャ哲学文献を読む 英米哲学文献を読む ドイツ哲学文献を読む 哲学科特殊演習	12331	10	1～4 1～4 2～4 2～4 2～4 ※		
	卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出	
小 計				66			
現代 総合 科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
小 計				16			
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈哲学科〉 学科専門科目対照表

[2015 年度以降 2017 年度以前入学生・2017 年度以降 2019 年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に 書かれている 科目名称	2018 年度 開講科目名称	開講	区分	卒業単位配当表に 書かれている 科目名称	2018 年度 開講科目名称	開講							
学 科 専 門 科 目 講 義	学科導入	専門の技法<哲学>		学 科 専 門 科 目	卒業単位配当表に 書かれている 科目名称	2018 年度 開講科目名称	開講							
	演習	哲学科演習Ⅰ 哲学科演習Ⅱ 哲学科演習Ⅲ 哲学科演習Ⅳ	哲学科演習Ⅰ 哲学科演習Ⅱ 哲学科演習Ⅲ 哲学科演習Ⅳ					実践 研究	ギリシャ語入門 ラテン語入門 ギリシャ哲学文献を読む 英米哲学文献を読む ドイツ哲学文献を読む 哲学科特殊演習	古典ギリシャ語入門1 古典ギリシャ語入門2 ラテン語入門1 ラテン語入門2 ギリシャ哲学文献を読む1 ギリシャ哲学文献を読む2 英米哲学文献を読む1 英米哲学文献を読む2 ドイツ哲学文献を読む1 ドイツ哲学文献を読む2 フランス哲学文献を読む1 フランス哲学文献を読む2	哲学			
	概論	哲学概論 倫理学概論 宗教学概論	哲学概論1 哲学概論2 倫理学概論1 倫理学概論2 宗教学概論1 宗教学概論2									卒業 論文	卒業論文	卒業論文
	A	西洋哲学史(古代) 西洋哲学史(中世) 西洋哲学史(近世) 日本哲学 人間関係学 死生学 生命倫理	西洋哲学史(古代)1 西洋哲学史(古代)2 西洋哲学史(中世)1 西洋哲学史(中世)2 西洋哲学史(近世)1 西洋哲学史(近世)2 日本哲学 人間関係学 死生学 生命倫理											
B	論理学 宗教学 キリスト教学 哲学科特殊講義	宗教史1 宗教史2 キリスト教学1 キリスト教学2 哲学科特殊講義1 哲学科特殊講義2 哲学科特殊講義5 哲学科特殊講義6 哲学科特殊講義7 哲学科特殊講義8	卒業 論文	卒業論文	卒業論文									
C	人文地理学 世界地誌学 法学概論 政治学概論 国際関係論 国際政治学	人文地理学1 人文地理学2 人文地理学3 人文地理学4 世界地誌学1 世界地誌学2 世界地誌学3 世界地誌学4 法学概論1 法学概論2 政治学概論1 政治学概論2 国際関係論1 国際関係論2 国際政治学1 国際政治学2				卒業 論文	卒業論文	卒業論文						

<注意事項>

- 2018 年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2015 年度以降 2017 年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018 年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017 年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈哲学科〉 [2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

区 分		西洋哲学・日本哲学コース 倫理学・人間関係学コース 宗教学・死生学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計				18		
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<哲学>	12111	2	1		
	演 習	哲学科演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		哲学科演習Ⅱ	12152	4	2		
		哲学科演習Ⅲ	12153	4	3		
		哲学科演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	哲学概論 倫理学概論 宗教学概論	12311	8	2～4	自コースの概論4単位履修を原則とする	
	講 義	A	西洋哲学史(古代) 西洋哲学史(中世) 西洋哲学史(近世) 日本哲学 人間関係学 死生学 生命倫理	12321	10	2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 1～4 1～4	
		B	論理学 宗教史 キリスト教学 哲学科特殊講義	12322	10	1～4 3～4 1～4 2～4	
	実 践 研 究	ギリシャ語入門 ラテン語入門 ギリシャ哲学文献を読む 英米哲学文献を読む ドイツ哲学文献を読む 哲学科特殊演習	12331	12	1～4 1～4 2～4 2～4 2～4 ※		
	卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出	
小 計				66			
現代 総合 科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
小 計				16			
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈哲学科〉 学科専門科目対照表

[2013 年度以降 2014 年度以前入学生・2015 年度以降 2016 年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018 年度開講科目名称	開講
学 科 導 入	専門の技法<哲学>	専門の技法<哲学> 1	哲学
演 習	哲学科演習Ⅰ 哲学科演習Ⅱ 哲学科演習Ⅲ 哲学科演習Ⅳ	哲学科演習Ⅰ 哲学科演習Ⅱ 哲学科演習Ⅲ 哲学科演習Ⅳ	
概 論	哲学概論 倫理学概論 宗教学概論	哲学概論 1 哲学概論 2 倫理学概論 1 倫理学概論 2 宗教学概論 1 宗教学概論 2	
講 義	A 西洋哲学史 (古代) 西洋哲学史 (中世) 西洋哲学史 (近世) 日本哲学 人間関係学 死生学 生命倫理	西洋哲学史 (古代) 1 西洋哲学史 (古代) 2 西洋哲学史 (中世) 1 西洋哲学史 (中世) 2 西洋哲学史 (近世) 1 西洋哲学史 (近世) 2 日本哲学 人間関係学 死生学 生命倫理	
		B 論理学 宗教史 キリスト教学 哲学科特殊講義	
実 践 研 究	ギリシャ語入門 ラテン語入門 ギリシャ哲学文献を読む 英米哲学文献を読む ドイツ哲学文献を読む 哲学科特殊演習	古典ギリシャ語入門 1 古典ギリシャ語入門 2 ラテン語入門 1 ラテン語入門 2 ギリシャ哲学文献を読む 1 ギリシャ哲学文献を読む 2 英米哲学文献を読む 1 英米哲学文献を読む 2 ドイツ哲学文献を読む 1 ドイツ哲学文献を読む 2 フランス哲学文献を読む 1 フランス哲学文献を読む 2 哲学科特殊演習 1 哲学科特殊演習 2 哲学科特殊演習 3 哲学科特殊演習 4 哲学科特殊演習 5 哲学科特殊演習 6 哲学科特殊演習 7 哲学科特殊演習 8 哲学科特殊演習 9 哲学科特殊演習 10 哲学科特殊演習 11 哲学科特殊演習 12 哲学科特殊演習 13 哲学科特殊演習 14	
		卒業論文	

<注意事項>

- 2018 年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2013 年度以降 2014 年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018 年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017 年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈社会学科〉 地域政策学コース

[2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分	地域政策学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘要	
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4	
	大学導入	学びの発見	11013	2	1	
	第1外国語	英語	11021	4	1	
	第2外国語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る
	小計				18	
	学科導入	専門の技法<社会学>	12111	2	1	
演習	社会学総合演習Ⅰ	12151	4	1		
	社会学演習Ⅱ	12152	4	2		
	社会学演習Ⅲ	12153	4	3		
	社会学演習Ⅳ	12154	4	4	卒業論文指導を含む	
概論	公共政策概論	12311	4	2～4	「公共政策概論」4単位の履修を原則とする	
	社会学概論1				現代社会学コースと共通	
学科専門科目	非営利組織マネジメント論			2～4		
	地方自治論			3～4		
	地域政策特殊講義			3～4		
	ソーシャルビジネス論			3～4		
	心理学概論			1～4	現代社会学コースと共通	
	経済学概論			1～4	現代社会学コースと共通	
	法学概論			1～4	現代社会学コースと共通	
	政治学概論			1～4	現代社会学コースと共通	
	国際政治学			3～4	現代社会学コースと共通	
	国際関係論			3～4	現代社会学コースと共通	
	国際経済学			3～4	現代社会学コースと共通	
	人文地理学			2～4	現代社会学コースと共通	
	世界地誌学			2～4	現代社会学コースと共通	
	社会調査論		12321	24	2～4	現代社会学コースと共通
	現代社会論			2～4	現代社会学コースと共通	
	文化人類学			2～4	現代社会学コースと共通	
	宗教と社会			2～4	現代社会学コースと共通	
	現代家族論			2～4	現代社会学コースと共通	
	社会問題論			2～4	現代社会学コースと共通	
	地域社会論			2～4	現代社会学コースと共通	
地域福祉論			2	社会福祉学コースと共通		
高齢者福祉			1～4	社会福祉学コースと共通		
障害者福祉			1～4	社会福祉学コースと共通		
児童福祉			1～4	社会福祉学コースと共通		
現代社会とコミュニケーション			2～4	現代社会学コースと共通		
アジア社会論			2～4	現代社会学コースと共通		
社会学特殊講義			3～4	現代社会学コースと共通		
実践研究	NPOラーニング基礎Ⅰ			2～4		
	NPOラーニング基礎Ⅱ			2～4		
	NPOラーニング実習			3～4		
	NPOラーニング研究Ⅰ			3～4		
	NPOラーニング研究Ⅱ			3～4		
社会学特殊演習				*		
卒業論文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出	
小計				66		
現代総合科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※	
	キャリア形成系	※	14020	4	※	
	自然生命系	※	14030	4	※	
	歴史文化系	※	14040	4	※	
	小計				16	
自己選択科目		13000 13100	24	1～4		
合計				124		

※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験

受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈社会学科〉 現代社会学コース 文化人類学コース
[2013年度以降2014年度以前入学生・2015年度以降2016年度以前編入学生適用]

区分	現代社会学コース 文化人類学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘要	
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4	
	大学導入	学びの発見	11013	2	1	
	第1外国語	英語	11021	4	1	
	第2外国語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る
	小計				18	
学科専門科目	学科導入	専門の技法<社会学>	12111	2	1	
	演習	社会学科総合演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む
		社会学・文化人類学演習Ⅱ	12152	4	2	
		社会学・文化人類学演習Ⅲ	12153	4	3	
		社会学・文化人類学演習Ⅳ	12154	4	4	
	概論	社会学概論 文化人類学概論	12311	4	2～4	
	講義	社会学史 社会調査論 現代社会論 文化人類学 宗教と社会 現代家族論 社会問題論 地域社会論 民族誌講義 現代社会とコミュニケーション アジア社会論 社会学特殊講義 文化人類学特殊講義 地域福祉論 福祉行財政と福祉計画 権利擁護と成年後見制度	12321	24	2～4	社会福祉学コースと共通 社会福祉学コースと共通 社会福祉学コースと共通
					2～4	
					3～4	
					2～4	
2～4						
3～4						
3～4						
3～4						
3～4						
3～4						
2						
3～4						
2～4						
実践研究	フィールドワーク 社会調査演習 社会学特殊演習 文化人類学特殊演習	12331	12	2～4		
				2～4		
				※ 2～4		
卒業論文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出	
小計				66		
現代総合科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※	
	キャリア形成系	※	14020	4	※	
	自然生命系	※	14030	4	※	
	歴史文化系	※	14040	4	※	
小計				16		
自己選択科目		13000 13100	24	1～4		
合計				124		

※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈社会学科〉 社会福祉学コース

[2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

区 分	社会福祉学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要		
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計			18			
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<社会学>	12111	2	1		
	演 習	社会学科総合演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		社会福祉学演習Ⅱ	12152	4	2		
		社会福祉学演習Ⅲ	12153	4	3		
		社会福祉学演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	現代社会と福祉 社会学概論Ⅰ	12311	4	2～4	社会福祉学コースの概論 4単位履修を原則とする 現代社会学・文化人類学コースと共通	
	講 義		心理学	12321	42	1～4	現代社会学・文化人類学コースと共通
			社会学			1～4	
			法律学			1～4	
			社会保障論			2～4	
			高齢者福祉			1～4	
障害者福祉			1～4				
児童福祉			1～4				
医学一般			2～4				
社会福祉調査論			3～4				
相談援助の基盤と専門職			2				
相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱ			2				
相談援助の理論と方法Ⅲ・Ⅳ			3				
地域福祉論			2				
福祉行財政と福祉計画			3～4				
社会福祉施設経営論	3～4						
公的扶助論	2～4						
保健医療サービス論	2～4						
就労支援	2～4						
権利擁護と成年後見制度	2～4						
司法福祉論	2～4						
介護概論	2～4						
社会福祉学特殊講義	3～4						
現代社会論	3～4						
現代家族論	3～4						
社会問題論	3～4						
社会調査論	2～4						
実 践 研 究		社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ	12332	10	2	事前指導および現場での指導 現場での指導および事後指導 現場での指導および事後指導 定められた施設又は事業所において、180時間の実習を行なう。	
		社会福祉援助技術演習Ⅲ・Ⅳ			3		
		社会福祉援助技術演習Ⅴ			4		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ			2		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ			3		
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	4						
社会福祉援助技術現場実習	3						
介護技術	2～4						
社会福祉学特殊演習	3～4						
卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出		
小 計			82				
自己選択科目		13000 13100	24	1～4			
合 計			124				

※社会福祉士国家試験受験資格を取得希望の学生は、「Ⅱ．資格の取得」の中の「7．社会福祉士国家試験受験資格課程」を参照のこと！

〈歴史学科〉

[2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分		日本史コース・東洋史コース 歴史ミュージアムコース・交流アジアコース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要				
共通 基礎 科目	総合科目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4					
	大学導入	学びの発見	11013	2	1					
	第1外国語	英語	11021	4	1					
	第2外国語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る				
	小 計				18					
学 科 専 門 科 目	学科導入	専門の技法<歴史学>	12111	2	1					
	演 習	歴史学演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む				
		歴史学演習Ⅱ	12152	4	2					
		歴史学演習Ⅲ	12153	4	3					
		歴史学演習Ⅳ	12154	4	4					
	概 論	日本史学概論	12311	2	2～4					
		東洋史学概論	12312	2						
		西洋史学概論	12313	2						
	講 義	A	日本古代史講義 日本中世史講義 日本近世史講義 日本近代史講義 中国古代史講義 中国中世史講義 中国近世・近代史講義 歴史学特殊講義	12321	10	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 3～4 2～4 2～4				
			B			日本民俗学 中国仏教史 日本仏教史 真宗史 仏教文化史 文化交流史 世界遺産論 京都の歴史と文化 歴史地理学 考古学 美術史 古文書学概論 建築史 博物館概論 博物館資料論 文化財概論 文化財調査・分析論 文化財保存科学論 文化財修復論 文化財映像化論	12322	8	1～4 1～4 1～4 2～4 2～4 1～4 1～4 1～4 2～4 2～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4	
		C		人文地理学 世界地誌学 法学概論 政治学概論 国際関係論 国際政治学	12323	2			2～4 2～4 1～4 1～4 3～4 3～4	
	実 践 研 究	A		歴史学基礎演習	12331	2			1	
		B		日本古代史料を読む 日本中世史料を読む 日本近世史料を読む 日本近代史料を読む 中国古代史料を読む 中国中世史料を読む 中国近世・近代史料を読む 交流史料を読む 古文書解読法 古文書演習 漢文と情報処理 情報と歴史学 歴史学特殊演習 文化財調査演習 博物館等施設演習 普及・教育演習 展示実習	12332	12			2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 3～4 4	
	卒業論文	卒業論文		12341	8	4			卒業年次に提出	
	小 計				66					
現代総合科目	コミュニケーション系	※		14010	4	※				
	キャリア形成系	※		14020	4	※				
	自然生命系	※		14030	4	※				
	歴史文化系	※		14040	4	※				
小 計					16					
自己選択科目			13000 13100	24	1～4					
合 計				124						

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈歴史学科〉 学科専門科目対照表

[2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に 書かれている 科目名称	2018年度 開講科目名称	開講	区分	卒業単位配当表に 書かれている 科目名称	2018年度 開講科目名称	開講
学科導入	専門の技法<歴史学>	専門の技法 (歴史学) 1 専門の技法 (歴史学) 2				人文地理学 1 人文地理学 2 人文地理学 3 人文地理学 4 世界地誌学 1 世界地誌学 2 世界地誌学 3 世界地誌学 4	
演習	歴史学演習 I 歴史学演習 II 歴史学演習 III 歴史学演習 IV	歴史学演習 I 歴史学演習 II 歴史学演習 III 歴史学演習 IV			人文地理学 世界地誌学 法学概論 政治学概論 国際関係論 国際政治学		
概論	日本史学概論 東洋史学概論 西洋史学概論	日本史学概論 1 日本史学概論 2 東洋史学概論 1 東洋史学概論 2 西洋史学概論 1 西洋史学概論 2		講義 C		法学概論 1 法学概論 2 政治学概論 1 政治学概論 2 国際関係論 1 国際関係論 2 国際政治学 1 国際政治学 2	
学 科 専 門 科 目	A	日本古代史講義 1 日本古代史講義 2 日本中世史講義 1 日本中世史講義 2 日本近世史講義 1 日本近世史講義 2 日本近現代史講義 1 日本近現代史講義 2 中国古代史講義 1 中国古代史講義 2 中国中世史講義 1 中国中世史講義 2 中国近世・近代史講義 1 中国近世・近代史講義 2 西洋史講義 1 西洋史講義 2 歴史学特殊講義 1 歴史学特殊講義 2 歴史学特殊講義 3 歴史学特殊講義 4 歴史学特殊講義 5 歴史学特殊講義 6	歴史	A	歴史学基礎演習	歴史学基礎演習 1 歴史学基礎演習 2 歴史学基礎演習 3 歴史学基礎演習 4	歴史
		B			日本古代史料を読む 日本中世史料を読む 日本近世史料を読む 日本近代史料を読む 中国古中世史料を読む 中国近世・近代史料を読む 交流史料を読む 古文書解読法 古文書演習 漢文と情報処理 情報と歴史学 歴史学特殊演習 文化財調査演習 博物館等施設演習 普及・教育演習 展示実習	日本古代史料を読む 1 日本古代史料を読む 2 日本中世史料を読む 1 日本中世史料を読む 2 日本近世史料を読む 1 日本近世史料を読む 2 日本近現代史料を読む 1 日本近現代史料を読む 2 中国古中世史料を読む 1 中国古中世史料を読む 2 中国近世・近代史料を読む 1 中国近世・近代史料を読む 2 交流史料を読む 1 交流史料を読む 2 西洋史文献を読む 1 西洋史文献を読む 2 古文書解読法 1 古文書解読法 2 古文書演習 1 古文書演習 2 漢文訓読法 1 漢文訓読法 2 歴史学特殊演習 3 歴史学特殊演習 4 文化財調査演習 1 博物館等施設演習 1 展示実習 京都探究調査演習 1 京都探究調査演習 2	
					卒業論文	卒業論文	

〈注意事項〉

- 2018年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2015年度以降 2017年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈歴史学科〉 [2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

区 分		日本史コース・東洋史コース 歴史ミュージアムコース・交流アジアコース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4	
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1	
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1	
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る
	小 計				18	
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<歴史学>	12111	2	1	
	演 習	歴史学演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む
		歴史学演習Ⅱ	12152	4	2	
		歴史学演習Ⅲ	12153	4	3	
		歴史学演習Ⅳ	12154	4	4	
	概 論	日本史学概論	12311	2	2～4	
		東洋史学概論	12312	2		
		西洋史学概論	12313	2		
	講 義	A	日本古代史講義 日本中世史講義 日本近世史講義 日本近代史講義 中国古代史講義 中国中世史講義 中国近世・近代史講義 歴史学特殊講義	12321	10	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 3～4 2～4 2～4
		B	日本民俗学 中国仏教史 日本仏教史 真宗史 仏教文化史 文化交流史 世界遺産論 京都の歴史と文化 歴史地理学 考古学 美術史 古文書学概論 建築史 博物館概論 博物館資料論 文化財概論 文化財調査・分析論 文化財保存科学論 文化財修復論 文化財映像化論	12322	10	1～4 1～4 1～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4
	実 践 研 究	A	歴史学基礎演習	12331	2	1
		B	日本古代史料を読む 日本中世史料を読む 日本近世史料を読む 日本近代史料を読む 中国古代史料を読む 中国中世史料を読む 中国近世・近代史料を読む 交流史料を読む 古文書解読法 古文書演習 漢文と情報処理 情報と歴史学 歴史学特殊演習 文化財調査演習 博物館等施設演習 普及・教育演習 展示実習	12332	12	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 3～4 4
			卒業論文	卒業論文	12341	8
	小 計				66	
	現代 総合 科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※
キャリア形成系		※	14020	4	※	
自然生命系		※	14030	4	※	
歴史文化系		※	14040	4	※	
小 計				16		
自己選択科目			13000 13100	24	1～4	
合 計				124		

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈歴史学科〉 学科専門科目対照表

[2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に 書かれている 科目名称	2018年度 開講科目名称	開講	区分	卒業単位配当表に 書かれている 科目名称	2018年度 開講科目名称	開講				
学科導入	専門の技法<歴史学>	専門の技法 (歴史学) 1 専門の技法 (歴史学) 2		A	歴史学基礎演習	歴史学基礎演習 1 歴史学基礎演習 2 歴史学基礎演習 3 歴史学基礎演習 4					
								演習	歴史学演習 I 歴史学演習 II 歴史学演習 III 歴史学演習 IV	歴史学演習 I 歴史学演習 II 歴史学演習 III 歴史学演習 IV	
									概論	日本史学概論 東洋史学概論 西洋史学概論	日本史学概論 1 日本史学概論 2 東洋史学概論 1 東洋史学概論 2 西洋史学概論 1 西洋史学概論 2
										A	日本古代史講義 日本中世史講義 日本近世史講義 中国近代史講義 中国中世史講義 中国近世・近代史講義 中国近世・近代史講義 歴史学特殊講義
B	日本民俗学 中国仏教史 日本仏教史 真宗史 仏教文化史 文化交流史 世界遺産論 京都の歴史と文化 歴史地理学 考古学 美術史 古文書学概論 建築史 博物館概論 博物館資料論 文化財概論 文化財調査・分析論 文化財保存科学論 文化財修復論 文化財映像化論	日本民俗学 中国仏教史 日本仏教史 真宗史 京都の歴史と文化 考古学 1 考古学 2 美術史 1 美術史 2 古文書学概論 1 古文書学概論 2 建築史 1 建築史 2 博物館概論 博物館資料論 文化財保存科学論 京都探究講義 1 京都探究講義 2									
学科専門科目	実践研究	歴史	卒業論文	卒業論文	卒業論文	卒業論文					

＜注意事項＞

- 2018年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2013年度以降 2014年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈文学科〉 国文学コース

[2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区 分		国文学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4	
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1	
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1	
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る
	小 計				18	
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<文学>	12111	2	1	
	演 習	文学科演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む
		国文学演習Ⅱ	12152	4	2	
		国文学演習Ⅲ	12153	4	3	
		国文学演習Ⅳ	12154	4	4	
	概 論	A 国文学概論 中国文学概論 1	12311	4	1～4	「国文学概論」4単位の履修を原則とする 中国文学コースと共通
		B 国語学概論 中国語学概論 1	12312	4	1～4	「国語学概論」4単位の履修を原則とする 中国文学コースと共通
	講 義	A 日本文学の歴史 上代文学 中古文学 中世文学 近世文学 近現代文学 文章表現学 国文法の研究 中国言語学史 日本語特殊講義	12321	16	1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 2～4	中国文学コースと共通
		B 西洋文学の源流 中国の書物と印刷術 比較文化講義 ドイツ詩人とその世界	12322	4	1～4	4コース共通 中国文学コースと共通 英文学コースと共通 ドイツ文学コースと共通
	実 践 研 究	上代文学を読む 中古文学を読む 中世文学を読む 近世文学を読む 近現代文学を読む 古典文学特殊演習 鑑賞日本の古典文学 日本古典文法 漢文訓読法	12331	12	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 1～4	中国文学コースと共通
	卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出
小 計				66		
現代 総合 科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※	
	キャリア形成系	※	14020	4	※	
	自然生命系	※	14030	4	※	
	歴史文化系	※	14040	4	※	
	小 計				16	
自己選択科目			13000 13100	24	1～4	
合 計				124		

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者
一覧表

〈文学科〉国文学コース 学科専門科目対照表

[2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018年度開講科目名称	開講
学科導入	専門の技法<文学>	専門の技法<文学> 1	文学
演習	文学科演習Ⅰ 国文学演習Ⅱ 国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅳ	文学科演習Ⅰ 国文学演習Ⅱ 国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅳ	
概論	A 国文学概論 中国文学概論 1	国文学概論 1 国文学概論 2 中国文学概論 1	
	B 国語学概論 中国語学概論 1	国語学概論 1 国語学概論 2 中国語学概論 1	
講義	A 日本文学の歴史 上代文学 中古文学 中世文学 近世文学 近現代文学 文章表現学 国文学の研究 中国言語学史 日本語特殊講義	日本文学史 1 日本文学史 2 国文学講義 1 国文学講義 2 古典文学 1 古典文学 2 古典文学 3 古典文学 4 近現代文学 1 近現代文学 2 文章表現学 1 文章表現学 2 日本語特殊講義 1 日本語特殊講義 2	
	B 西洋文学の源流 中国の書物と印刷術 比較文化講義 ドイツ詩人とその世界	西洋文学の源流 1 西洋文学の源流 2 中国文学 1 中国文学 2 比較文化講義 1 比較文化講義 2 ドイツ詩人とその世界 1 ドイツ詩人とその世界 2	
実践研究	上代文学を読む 中古文学を読む 中世文学を読む 近世文学を読む 近現代文学を読む 古典文学特殊演習 鑑賞日本の古典文学 日本古典文法 漢文訓読法	古典文学講読 1 古典文学講読 2 古典文学講読 3 古典文学講読 4 近現代文学講読 1 近現代文学講読 2 近現代文学講読 3 近現代文学講読 4 古典文学特殊演習 1 古典文学特殊演習 2 鑑賞日本の古典文学 1 鑑賞日本の古典文学 2 文学鑑賞 1 文学鑑賞 2 漢文訓読演習 1 漢文訓読演習 2	
卒業論文	卒業論文	卒業論文	

<注意事項>

- 2018年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2013年度以降 2017年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈文学科〉 中国文学コース

[2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区 分		中国文学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘 要	
共通 基礎 科目	総合科目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4		
	大学導入	学びの発見	11013	2	1		
	第1外国語	英語	11021	4	1		
	第2外国語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計				18		
学 科 専 門 科 目	学科導入	専門の技法<文学>	12111	2	1		
	演 習	文学科演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		中国文学演習Ⅱ	12152	4	2		
		中国文学演習Ⅲ	12153	4	3		
		中国文学演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	A	中国文学概論 国文学概論 1	12311	4	1～4	「中国文学概論」4単位の履修を原則とする 国文学コースと共通
		B	中国語学概論 国語学概論 1	12312	4	1～4	「中国語学概論」4単位の履修を原則とする 国文学コースと共通
	講 義	A	中国文学史 中国思想史 中国言語学史 中国の書物と印刷術 国文学の研究 中国文学特殊講義	12321	16	1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 2～4	国文学コースと共通
		B	西洋文学の源流 文章表現学 比較文化講義 ドイツ詩人とその世界	12322	4	1～4	4コース共通 国文学コースと共通 英文学コースと共通 ドイツ文学コースと共通
	実践研究	中国の詩を読む 中国の散文作品を読む 中国の近現代文を読む 思想文献を読む 中国文学特殊演習 日本古典文法 漢文訓読法	12331	12	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4	国文学コースと共通	
卒業論文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出		
小 計				66			
現代 総合 科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
小 計				16			
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

【現代総合科目コミュニケーション系の履修にあたって】

中国文学コースを志望する学生は、「中国語」に関する科目を履修することが望ましい。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈文学科〉 中国文学コース 学科専門科目対照表

[2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018年度開講科目名称	開講
学 科 導 入	専門の技法<文学>	専門の技法<文学> 1	文学
演 習	文学科演習Ⅰ 中国文学演習Ⅱ 中国文学演習Ⅲ 中国文学演習Ⅳ	文学科演習Ⅰ 中国文学演習Ⅱ 中国文学演習Ⅲ 中国文学演習Ⅳ	
概 論	A	中国文学概論 国文学概論 1	
	B	中国語学概論 国語学概論 1	
講 義	A	中国文学史 中国思想史 中国言語学史 中国の書物と印刷術 国文学法の研究 中国文学特殊講義	
	B	西洋文学の源流 文章表現学 比較文化講義 ドイツ詩人とその世界	
実 践 研 究	中国の詩を読む 中国の散文作品を読む 中国の近現代文を読む 思想文献を読む 中国文学特殊演習 日本古典文法 漢文訓読法	中国の散文作品を読む 1 中国の散文作品を読む 2 中国文学講読 1 中国文学講読 2 中国の近現代文を読む 1 中国の近現代文を読む 2 中国文学特殊演習 1 中国文学特殊演習 2 漢文訓読演習 1 漢文訓読演習 2	
卒 業 論 文	卒業論文	卒業論文	

＜注意事項＞

1. 2018年度よりカリキュラムの変更を行いました。
2. 2013年度以降 2017年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
3. カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
4. 2017年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
5. 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈文学科〉 英文学コース

[2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分		英文学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要
共通 基礎 科目	総合科目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4	
	大学導入	学びの発見	11013	2	1	
	第1外国語	英語	11021	4	1	
	第2外国語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る
	小 計				18	
学 科 専 門 科 目	学科導入	専門の技法<文学>	12111	2	1	
	演 習	文学科演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む
		英文学演習Ⅱ	12152	4	2	
		英文学演習Ⅲ	12153	4	3	
		英文学演習Ⅳ	12154	4	4	
	概 論	A 英文学概論 ドイツ文学概論 1	12311	4	1～4	「英文学概論」4単位の履修を原則とする ドイツ文学コースと共通
		B 英語学概論 ドイツ語学概論 1	12312	4	1～4	「英語学概論」4単位の履修を原則とする ドイツ文学コースと共通
	講 義	A 西洋文学の源流 比較文化講義 英米の文化1・2 英語のしくみ アメリカの小説 イギリスの小説 英米文学特殊講義	12321	16	1～4 1～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4	4コース共通 国際文化学科と共通
		B 西ヨーロッパの文化 文章表現学 中国の書物と印刷術 ドイツ詩人とその世界	12322	4	1～4	国際文化学科と共通 国文学コースと共通 中国文学コースと共通 ドイツ文学コースと共通
	実践研究	英語コミュニケーション演習1～4 英米の詩と演劇を読む 英米文学特殊演習	12331	12	2～4	国際文化学科と共通
	卒業論文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出
小 計				66		
現代 総合 科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※	
	キャリア形成系	※	14020	4	※	
	自然生命系	※	14030	4	※	
	歴史文化系	※	14040	4	※	
小 計				16		
自己選択科目			13000 13100	24	1～4	
合 計				124		

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

【現代総合科目コミュニケーション系の履修にあたって】

英文学コースを志望する学生は、「英語」に関する科目を履修することが望ましい。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈文学科〉 英文学コース 学科専門科目対照表

[2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018年度開講科目名称	開講
学 科 導 入	専門の技法<文学>	専門の技法 <文学> 1	文学
演 習	文学科演習Ⅰ 英文学演習Ⅱ 英文学演習Ⅲ 英文学演習Ⅳ	文学科演習Ⅰ 英文学演習Ⅱ 英文学演習Ⅲ 英文学演習Ⅳ	
概 論	A	英文学概論 ドイツ文学概論 1	
	B	英語学概論 ドイツ語学概論 1	
講 義	A	西洋文学の源流 西洋文学の源流 2 比較文化講義 1 比較文化講義 2 英米の文化 1 英米の文化 2 英語のしくみ 1 英語のしくみ 2 アメリカ文学講義 1 アメリカ文学講義 2 イギリス文学講義 1 イギリス文学講義 2 英米文学特殊講義 1 英米文学特殊講義 2	
	B	ヨーロッパの文化 1 ヨーロッパの文化 2 文章表現学 1 文章表現学 2 中国文献学 1 中国文献学 2 ドイツ詩人とその世界 1 ドイツ詩人とその世界 2	
実 践 研 究	英語コミュニケーション演習 1～4 英米の詩と演劇を読む 英米文学特殊演習	英語コミュニケーション演習 1 英語コミュニケーション演習 2 英語コミュニケーション演習 3 英語コミュニケーション演習 4 英米の詩と演劇を読む 1 英米の詩と演劇を読む 2 英米文学特殊演習 1 英米文学特殊演習 2	
卒 業 論 文	卒業論文	卒業論文	

＜注意事項＞

1. 2018年度よりカリキュラムの変更を行いました。
2. 2013年度以降 2017年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
3. カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
4. 2017年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
5. 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈文学科〉 ドイツ文学コース

[2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区 分		ドイツ文学コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計				18		
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<文学>	12111	2	1		
	演 習	文学科演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		ドイツ文学演習Ⅱ	12152	4	2		
		ドイツ文学演習Ⅲ	12153	4	3		
		ドイツ文学演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	A	ドイツ文学概論 英文学概論 1	12311	4	1～4	「ドイツ文学概論」4単位の履修を原則とする 英文学コースと共通
		B	ドイツ語学概論 英語学概論 1	12312	4	1～4	「ドイツ語学概論」4単位の履修を原則とする 英文学コースと共通
	講 義	A	西洋文学の源流 ドイツ詩人とその世界 ドイツ近現代文学 ドイツ文学特殊講義	12321	16	1～4	4コース共通
		B	西ヨーロッパの文化 文章表現学 中国の書物と印刷術 比較文化講義	12322	4	1～4	国際文化学科と共通 国文学コースと共通 中国文学コースと共通 英文学コースと共通
	実 践 研 究	ドイツ文学読解 ドイツ文学特殊演習 ドイツ語コミュニケーション演習	12331	12	2～4	国際文化学科と共通	
卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出		
小 計				66			
現代総合科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
	小 計				16		
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

【現代総合科目コミュニケーション系の履修にあたって】

ドイツ文学コースを志望する学生は、「ドイツ語」に関する科目を履修することが望ましい。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者
一覧表

〔文学科〕 ドイツ文学コース 学科専門科目対照表

[2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018年度開講科目名称	開講
学科導入	専門の技法<文学>	専門の技法<文学> 1	文学
演習	文学科演習Ⅰ ドイツ文学演習Ⅱ ドイツ文学演習Ⅲ ドイツ文学演習Ⅳ	文学科演習Ⅰ ドイツ文学演習Ⅱ ドイツ文学演習Ⅲ ドイツ文学演習Ⅳ	
概論	A ドイツ文学概論 英文学概論 1	ドイツ文学概論 1 ドイツ文学概論 2 英文学概論 1	
	B ドイツ語学概論 英語学概論 1	ドイツ語学概論 1 ドイツ語学概論 2 英語学概論 1	
講義	A 西洋文学の源流 ドイツ詩人とその世界 ドイツ近現代文学 ドイツ文学特殊講義	西洋文学の源流 1 西洋文学の源流 2 ドイツ詩人とその世界 1 ドイツ詩人とその世界 2 ドイツ近現代文学 2 ドイツ文学特殊講義 1 ドイツ文学特殊講義 2 ドイツ文学特殊講義 3 ドイツ文学特殊講義 4	
	B 西ヨーロッパの文化 文章表現学 中国の書物と印刷術 比較文化講義	ヨーロッパの文化 1 ヨーロッパの文化 2 文章表現学 1 文章表現学 2 中国文献学 1 中国文献学 2 比較文化講義 1 比較文化講義 2	
実践研究	ドイツ文学読解 ドイツ文学特殊演習 ドイツ語コミュニケーション演習	ドイツ文学読解 1 ドイツ文学読解 2 ドイツ文学特殊演習 1 ドイツ文学特殊演習 2 ドイツ語コミュニケーション演習 3 ドイツ語コミュニケーション演習 4	
卒業論文	卒業論文	卒業論文	

＜注意事項＞

- 2018年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2013年度以降 2017年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈国際文化学科〉

[2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区 分		現代アジアコース 欧米文化コース 文化環境コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要							
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4								
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1								
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1								
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る							
	小 計				18								
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<国際文化学>	12111	2	1								
	演 習	国際文化演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む							
		国際文化演習Ⅱ	12152	4	2								
		国際文化演習Ⅲ	12153	4	3								
		国際文化演習Ⅳ	12154	4	4								
	概 論	国際文化概論	12311	4	1								
	講 義	講 義	比較文化講義 近代日本と西洋 英米の文化 英語学概論 英語のしくみ 西ヨーロッパの文化 東アジアの文化 南アジアの文化 アジア社会論 日本ポップカルチャー論 環境文明論 環境と文化 国際文化特殊講義	12321	24	1～4 1～4 ※ 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 2～4 1～4 1～4 1～4 2～4	文学科と共通 文学科と共通 文学科と共通 文学科と共通 社会学科と共通						
			A			英語基礎演習	12331	4	1				
			B			英語コミュニケーション演習 ドイツ語コミュニケーション演習 フランス語コミュニケーション演習 サンスクリット語文献演習 チベット語文献演習 中国語コミュニケーション演習 韓国・朝鮮文化演習 表現文化演習 野外調査演習 サンスクリット語入門 サンスクリット語 チベット語入門 チベット語 ヒンディー語	12332	8	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 2～4 2～4 1～4	仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通			
						卒 業 論 文			卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出
						小 計					66		
現代 総合 科目						コミュニケーション系			※	14010	4	※	
						キャリア形成系			※	14020	4	※	
						自然生命系			※	14030	4	※	
						歴史文化系			※	14040	4	※	
						小 計					16		
自己選択科目				13000 13100	24	1～4							
合 計				124									

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者
一覧表

〈国際文化学科〉 学科専門科目対照表

[2015年度以降 2017年度以前入学生・2017年度以降 2019年度以前編入学生適用]

区分	卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018年度開講科目名称	開講
学 科 導 入	専門の技法<国際文化学>	専門の技法<国際文化学> 1	
演 習	国際文化演習 I 国際文化演習 II 国際文化演習 III 国際文化演習 IV	国際文化演習 I 国際文化演習 II 国際文化演習 III 国際文化演習 IV	
概 論	国際文化概論	国際文化概論	
講 義	比較文化講義 近代日本と西洋 英米の文化 英語学概論 英語のしくみ 西ヨーロッパの文化 東アジアの文化 南アジアの文化 アジア社会論 日本ポップカルチャー論 環境文明論 環境と文化 国際文化特殊講義	比較文化講義 1 比較文化講義 2 近代日本と西洋 1 英米の文化 1 英米の文化 2 英米の文化 3 英米の文化 4 英米の文化 5 英米の文化 6 英語学概論 1 英語学概論 2 英語のしくみ 1 英語のしくみ 2 ヨーロッパの文化 1 ヨーロッパの文化 2 東アジアの文化 1 東アジアの文化 2 インド学 地域仏教論 アジア社会論 日本ポップカルチャー論 環境文明論 2 環境と文化 2 国際文化特殊講義 1 国際文化特殊講義 2 国際文化特殊講義 3 国際文化特殊講義 4 国際文化特殊講義 5 国際文化特殊講義 6 越境するアジアの文化 1	国際
学 科 専 門 科 目	A	英語基礎演習	英語基礎演習
	B	英語コミュニケーション演習 ドイツ語コミュニケーション演習 フランス語コミュニケーション演習 サンスクリット語文献演習 チベット語文献演習 中国語コミュニケーション演習 韓国・朝鮮文化演習 表現文化演習 野外調査演習 サンスクリット語入門 サンスクリット語 チベット語入門 チベット語 ヒンディー語	英語コミュニケーション演習 1 英語コミュニケーション演習 2 英語コミュニケーション演習 3 英語コミュニケーション演習 4 英語コミュニケーション演習 5 英語コミュニケーション演習 6 英語コミュニケーション演習 7 英語コミュニケーション演習 8 英語コミュニケーション演習 9 英語コミュニケーション演習 10 英語コミュニケーション演習 11 英語コミュニケーション演習 12 ドイツ語コミュニケーション演習 3 ドイツ語コミュニケーション演習 4 フランス語コミュニケーション演習 3 フランス語コミュニケーション演習 4 中国語コミュニケーション演習 1 中国語コミュニケーション演習 2 中国語コミュニケーション演習 3 中国語コミュニケーション演習 4 言語文化演習 (韓国・朝鮮語) 1 言語文化演習 (韓国・朝鮮語) 2 表現文化演習 1 表現文化演習 2 野外調査演習 1 野外調査演習 2 サンスクリット語 a サンスクリット語 b 現代チベット語 a 現代チベット語 b 古典チベット語 a 古典チベット語 b ヒンディー語 a ヒンディー語 b
実 践 研 究			
卒 業 論 文	卒業論文	卒業論文	

<注意事項>

- 2018年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2015年度以降 2017年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈国際文化学科〉

[2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

区 分		現代アジアコース 欧米文化コース 文化環境コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計				18		
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<国際文化学>	12111	2	1		
	演 習	国際文化演習Ⅰ	12151	4	1	卒業論文指導を含む	
		国際文化演習Ⅱ	12152	4	2		
		国際文化演習Ⅲ	12153	4	3		
		国際文化演習Ⅳ	12154	4	4		
	概 論	国際文化概論	12311	4	1		
	講 義	比較文化講義 近代日本と西洋 英米の文化 西ヨーロッパの文化 東アジアの文化 南アジアの文化 民族誌講義 アジア社会論 日本ポップカルチャー論 環境文明論 環境と文化 国際文化特殊講義	12321	24	1～4 1～4 ※ 1～4 1～4 1～4 3～4 2～4 1～4 1～4 1～4 2～4	文学科と共通 社会学科と共通 社会学科と共通	
	実 践 研 究	A	英語基礎演習	12331	4	1	
		B	英語コミュニケーション演習 ドイツ語コミュニケーション演習 フランス語コミュニケーション演習 サンスクリット語文献演習 チベット語文献演習 中国語コミュニケーション演習 韓国・朝鮮文化演習 表現文化演習 野外調査演習 サンスクリット語入門 サンスクリット語 チベット語入門 チベット語 ヒンディー語	12332	8	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 2～4 2～4 1～4	仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通
	卒 業 論 文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出	
小 計				66			
現 代 総 合 科 目	コミュニケーション系	※	14010	4	※		
	キャリア形成系	※	14020	4	※		
	自然生命系	※	14030	4	※		
	歴史文化系	※	14040	4	※		
	小 計				16		
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

*今年度履修すべき学科専門科目は、次頁の「学科専門科目対照表」の「2018年度開講科目名称」欄を確認のこと。
※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

〈国際文化学科〉 学科専門科目対照表

[2013 年度以降 2014 年度以前入学生・2015 年度以降 2016 年度以前編入学生適用]

区 分	卒業単位配当表に書かれている 科目名称	2018 年度開講科目名称	開講
学 科 導 入	専門の技法<国際文化学>	専門の技法<国際文化学> 1	
演 習	国際文化演習 I 国際文化演習 II 国際文化演習 III 国際文化演習 IV	国際文化演習 I 国際文化演習 II 国際文化演習 III 国際文化演習 IV	
概 論	国際文化概論	国際文化概論	
講 義	比較文化講義 近代日本と西洋 英米の文化 西ヨーロッパの文化 東アジアの文化 南アジアの文化 民族誌講義 アジア社会論 日本ポップカルチャー論 環境文明論 環境と文化 国際文化特殊講義	比較文化講義 1 比較文化講義 2 近代日本と西洋 1 英米の文化 1 英米の文化 2 英米の文化 3 英米の文化 4 英米の文化 5 英米の文化 6 ヨーロッパの文化 1 ヨーロッパの文化 2 東アジアの文化 1 東アジアの文化 2 インド学 地域仏教論 アジア社会論 1 日本ポップカルチャー論 環境文明論 2 環境と文化 2 国際文化特殊講義 1 国際文化特殊講義 2 国際文化特殊講義 3 国際文化特殊講義 4 国際文化特殊講義 5 国際文化特殊講義 6 越境するアジアの文化 1	国際
実 践 研 究	A 英語基礎演習	英語基礎演習	
	B 英語コミュニケーション演習 ドイツ語コミュニケーション演習 フランス語コミュニケーション演習 サンスクリット語文獻演習 チベット語文獻演習 中国語コミュニケーション演習 韓国・朝鮮文化演習 表現文化演習 野外調査演習 サンスクリット語入門 サンスクリット語 チベット語入門 チベット語 ヒンディー語	英語コミュニケーション演習 1 英語コミュニケーション演習 2 英語コミュニケーション演習 3 英語コミュニケーション演習 4 英語コミュニケーション演習 5 英語コミュニケーション演習 6 英語コミュニケーション演習 7 英語コミュニケーション演習 8 英語コミュニケーション演習 9 英語コミュニケーション演習 10 英語コミュニケーション演習 11 英語コミュニケーション演習 12 ドイツ語コミュニケーション演習 3 ドイツ語コミュニケーション演習 4 フランス語コミュニケーション演習 3 フランス語コミュニケーション演習 4 中国語コミュニケーション演習 1 中国語コミュニケーション演習 2 中国語コミュニケーション演習 3 中国語コミュニケーション演習 4 言語文化演習 (韓国・朝鮮語) 1 言語文化演習 (韓国・朝鮮語) 2 表現文化演習 1 表現文化演習 2 野外調査演習 1 野外調査演習 2 サンスクリット語 a サンスクリット語 b 現代チベット語 a 現代チベット語 b 古典チベット語 a 古典チベット語 b ヒンディー語 a ヒンディー語 b	
卒 業 論 文	卒業論文	卒業論文	

＜注意事項＞

- 2018 年度よりカリキュラムの変更を行いました。
- 2013 年度以降 2014 年度以前入学生は、前頁の学科別卒業配当表に従って科目を履修してください。
- カリキュラム変更に伴い、一部新科目名称で開講しています。学科専門科目については、上記の「学科専門科目対照表」の「2018 年度開講科目名称」欄を確認し、登録・受講してください。
- 2017 年度以前に履修した単位・履修科目に関しては、変更ありません。
- 不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認してください。

〈人文情報学科〉

[2015年度以降入学生・2017年度以降編入学生適用]

区 分		情報マネジメントコース メディア表現コース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配 当	摘 要	
共通 基礎 科目	総 合 科 目	人間学Ⅰ	11011	4	1		
		人間学Ⅱ	11012	4	2～4		
	大 学 導 入	学びの発見	11013	2	1		
	第 1 外 国 語	英語	11021	4	1		
	第 2 外 国 語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る	
	小 計			18			
学 科 専 門 科 目	学 科 導 入	専門の技法<人文情報学>	12111	2	1		
	演 習	人文情報学演習Ⅰ	12151	4	1		
		人文情報学演習Ⅱ	12152	4	2		
		メディア表現学演習Ⅲ 情報マネジメント演習Ⅲ	12153	4	3		
		メディア表現学演習Ⅳ 情報マネジメント演習Ⅳ	12154	4	4	卒業論文指導を含む	
	概 論	人文情報学概論 コンピュータ概論	12311	4	1		
	講 義	A	プログラミング論 データベース概論 デジタルコンテンツ論	12321	6	1～2	
			情報文化論 情報検索概論 情報産業論 情報経営戦略論 情報マーケティング論 情報プロジェクトマネジメント 情報社会の権利と法律 情報社会論 情報倫理論 人工現実論 情報表現学テキスト処理論 ネットワーク論 図書館情報技術論 古文書学概論 文化財保存科学論 中国の書物と印刷術 日本ポップカルチャー論 論理学 地域福祉論 大乘仏教概説 人文情報学特殊講義	12322	10	3～4 2～4 3～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 2 2～4 2～4	歴史学科と共通 歴史学科と共通 文学科と共通 国際文化学科と共通 哲学科と共通 社会学科と共通 真宗学科と共通
	実 践 研 究	A	人文情報学基礎演習Ⅰ 人文情報学基礎演習Ⅱ	12331	4 4	1 1	
			3DCG作成演習 DTP演習 Webコンテンツ作成演習 映像作成演習 漢文と情報処理 情報と歴史学 Unix演習 データベース演習 デジタルライブラリー実践演習 デスクトップミュージック演習 ネットワーク演習 プログラミング演習 統計処理演習 情報表現学特殊演習	12332	12	2～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 2～4 ※ 2～4 ※ 3～4 2～4 2～3 ※	歴史学科と共通 歴史学科と共通
	卒 業 論 文		卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出
		小 計			66		
	現 代 総 合 科 目	コミュニケーション系	※	14010	4	※	
		キャリア形成系	※	14020	4	※	
		自然生命系	※	14030	4	※	
歴史文化系		※	14040	4	※		
	小 計			16			
自己選択科目			13000 13100	24	1～4		
合 計				124			

※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

【現代総合科目の履修にあたって】

キャリア形成系科目のうち、情報処理教室を利用する演習系科目の履修は登録しないこと。不明な点は、必ず指導教員に相談すること。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験

受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

科目担当者
一覧表

〈人文情報学科〉

[2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

区分	情報デザインコース・メディアクリエイターコース 情報文化コース・デジタルライブラリーコース	集計先 コード	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘要			
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	11011 11012	4 4	1 2～4			
	大学導入	学びの発見	11013	2	1			
	第1外国語	英語	11021	4	1			
	第2外国語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語	11031	4	1	外国人留学生に限る		
	小計			18				
学科専門科目	学科導入	専門の技法<人文情報学>	12111	2	1			
	演習	人文情報学演習Ⅰ	12151	4	1			
		人文情報学演習Ⅱ	12152	4	2			
		人文情報学演習Ⅲ	12153	4	3			
		人文情報学演習Ⅳ	12154	4	4	卒業論文指導を含む		
	概論	人文情報学概論	12311	4	1			
		コンピュータ概論			1			
	講義	A	プログラミング論 データベース概論 デジタルコンテンツ論 情報文化論	12321	6	1～2		
			B	情報検索概論 情報産業論 情報社会の権利と法律 情報社会論 情報倫理論 人工現実論 人文情報学テキスト処理論* ネットワーク論 図書館情報技術論 古文書学概論 文化財保存科学論 科学史 中国の書物と印刷術 日本ポップカルチャー論 認知情報処理 論理学 大乗仏教概説 人文情報学特殊講義	12322	10	1～4 1～3 2～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4	歴史学科と共通 歴史学科と共通
		A	人文情報学基礎演習Ⅰ 人文情報学基礎演習Ⅱ	12331	4 4	1 1		
			B	3DCG作成演習 DTP演習 Webコンテンツ作成演習 映像作成演習 漢文と情報処理 情報と歴史学 情報文化基礎演習 Unix演習 データベース演習 デジタルライブラリー実践演習 デスクトップミュージック演習 ネットワーク演習 プログラミング演習 情報文化実践演習 人文情報学特殊演習*	12332	12	2～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 * 3～4 2～4 2～3 *	歴史学科と共通 歴史学科と共通
		卒業論文	卒業論文	12341	8	4	卒業年次に提出	
		小計			66			
		現代総合科目	コミュニケーション系	※	14010	4	※	
			キャリア形成系	※	14020	4	※	
自然生命系			※	14030	4	※		
歴史文化系			※	14040	4	※		
小計			16					
自己選択科目			13000 13100	24	1～4			
合計				124				

※は、第2章「6. 開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

*「人文情報学テキスト処理論」及び「人文情報学特殊演習1～10」は、2015年度より「情報表現学テキスト処理論」・「情報表現学特殊演習1～10」に名称を変更しました。

2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生は、「情報表現学テキスト処理論」・「情報表現学特殊演習1～10」を履修することで、それぞれ講義B群・実践研究B群の単位とすることができます。なお、2014年度以前に「人文情報学テキスト処理論」及び「人文情報学特殊演習1～10」の単位修得済の学生についても、「情報表現学テキスト処理論」・「情報表現学特殊演習1～10」を履修することができます。不明な点等があれば、Web 聴講登録期間までに、必ず指導教員及び教務課窓口で確認するようにしてください。

【現代総合科目の履修にあたって】

キャリア形成系科目のうち、情報処理教室を利用する演習系科目の履修は登録しないこと。不明な点は、必ず指導教員に相談すること。

〈教育・心理学科〉

[2013年度以降入学生・2015年度以降編入学生適用]

区 分		教育学コース・心理学コース			集計先 コード	最低 履修 単位数	履修 学年 配当	摘 要
共通 基礎 科目	総合科目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ			11011 11012	4 4	1 2～4	
	大学導入	学びの発見			11013	2	1	
	第1外国語	英語			11021	4	1	
	第2外国語	ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 日本語			11031	4	1	外国人留学生に限る
	小 計					18		
学科導入	専門の技法<教育・心理学>			12111	2	1		
演 習	教育・心理学演習Ⅰ			12151	4	1	卒業論文指導を含む	
	教育・心理学演習Ⅱ			12152	4	2		
	教育・心理学演習Ⅲ			12153	4	3		
	教育・心理学演習Ⅳ			12154	4	4		
概 論	A	教育原論(小)	教育原論(幼)	教育心理学概論	12311	4	1～2	
	B	仏教と教育(初等)	教育人間学Ⅰ	教育人間学Ⅱ	12312	4	2～3	
講 義	A	教職入門(小)	臨床教育学Ⅱ	肢体不自由者教育基礎論*	12321	30	※	
		教育心理学(小)	初等教育実践論Ⅰ	病弱者教育基礎論*				
		発達心理学(小)	初等教育実践論Ⅱ	視覚障害者の心理・生理・病理*				
		教育社会学(小)	教職入門(幼)	聴覚障害者の心理・生理・病理*				
		教育行財政学(小)	教育心理学(幼)	視覚障害者教育基礎論*				
		教育課程論(小)	発達心理学(幼)	聴覚障害者教育基礎論*				
		特別活動論(小)	教育社会学(幼)	重複障害教育総論*				
		教育方法論(小)	教育課程論(幼)	L D等教育総論*				
		生徒・進路指導論(小)	教育方法論(幼)	心理学研究法				
		教育相談(小)	教育相談(幼)	臨床心理学				
		こども教育史Ⅰ	特別支援教育総論*	発達臨床心理学				
		こども教育史Ⅱ	知的障害者の心理・生理・病理*	授業心理学				
		教育学概論Ⅰ	肢体不自由者の心理・生理・病理*	児童の描画分析				
		教育学概論Ⅱ	病弱者の心理・生理・病理*	教室の心理学				
臨床教育学Ⅰ	知的障害者教育基礎論*	障害児心理学						
実践研究	A	教育実習指導(小)	教科(生活)	音楽Ⅱ(幼)	12331	18	※	
		教育実習Ⅰ(小)	教科(音楽)	図画工作(幼)				
		教育実習Ⅱ(小)	教科(図画工作)	知的障害者指導法*				
		教職実践演習(初等)	教科(家庭)	肢体不自由者指導法*				
		初等科教育法(国語)	教科(体育)	病弱者指導法*				
		初等科教育法(社会)	教科(外国語活動)	特別支援教育実習指導*				
		初等科教育法(算数)	教育実習指導(幼)	特別支援教育実習*				
		初等科教育法(理科)	教育実習Ⅰ(幼)	心理学実験実習Ⅰ				
		初等科教育法(生活)	教育実習Ⅱ(幼)	心理学実験実習Ⅱ				
		初等科教育法(音楽)	保育内容(健康)の理論と方法Ⅰ	心理検査実習Ⅰ				
		初等科教育法(図画工作)	保育内容(健康)の理論と方法Ⅱ	心理検査実習Ⅱ				
		初等科教育法(家庭)	保育内容(人間関係)の理論と方法	臨床心理学実習Ⅰ				
		初等科教育法(体育)	保育内容(環境)の理論と方法	臨床心理学実習Ⅱ				
		初等科教育法(外国語活動)	保育内容(言葉)の理論と方法	心理統計Ⅰ				
道徳教育の理論と方法(小)	保育内容(総合表現)の理論と方法	心理統計Ⅱ						
教科(国語)	国語(幼)	教育心理学講読Ⅰ						
教科(社会)	算数(幼)	教育心理学講読Ⅱ						
教科(算数)	体育(幼)							
教科(理科)	音楽Ⅰ(幼)							
卒業論文	卒業論文			12341	8	4	卒業年次に提出	
小 計					82			
自己選択科目				13000 13100	24	1～4		
合 計					124			

※は、第2章「6. 開講科目表」で、履修学年配当を参照のこと。

* 2014年度以降入学生・2016年度以降編入学生適用

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者
一覧表

5. 副専攻

【2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用】

[1] 副専攻とは

所属する学科（主専攻）に加え、ひとりひとりが学科やコースの枠を越えて主体的に興味関心のある分野を体系的に学習することで、視野を広げ、多面的な発想力や応用力を養うことを目指すためのものです。入学した学科の枠を超えた専門の学びを体系的に進めることで、キャリアアップにつながります。また、他の専門の知識や考え方を知ること、広い視野と多面的な発想力が身につく、自らの専門への理解がさらに深まります。

なお、副専攻は卒業要件ではないため、必ず選択して履修しなければならないものではありません。

[2] 登録および履修

①副専攻の登録について

・新入生→4月の聴講登録期間に、興味・関心を持った副専攻を1つ選択し登録してください。

※4月・9月の登録修正期間、また翌年4月の聴講登録期間に、登録した副専攻を変更することができます。

②副専攻の履修について

「[6] 副専攻配当表」を参照して履修すべき科目を確認し、第2章「6. 開講科目表」や「授業計画（Webシラバス）」で開講科目を確認して履修してください。卒業までに各区分の最低履修単位数を修得し、合計20単位を修得することで副専攻を修得することができます。

[3] 名称およびテーマ

「親鸞思想学」

鎌倉時代の仏教者親鸞の思想を学びます。たとえば、親鸞の思想として有名なものに「悪人成仏」や「他力」などがあります。親鸞の思想はこれまで多くの人々に学ばれ、その生き方に影響を与えてきたとともに、現代の人間が抱えるさまざまな問題に対しても示唆を与えてくれます。親鸞は90年の生涯を終えるまで、自己とは何か、人間とは何か、私たちが本当に大切にすべきことは何かについて思索を重ねました。この「親鸞思想学」では、そのような親鸞の学びを追体験し、また親鸞の言葉に直接学ぶことを通して、自己を見つめ、人間を問い、また共に生きるとは何かを考えます。

※真宗学科以外の学生が、「親鸞思想学」を副専攻に選べます。

「現代仏教学」

現代社会の諸問題を仏教の視点から学びます。社会問題といっても、それを生み出すのは一人ひとりの人間です。差別、虐待、貧困、欲望、孤立など世の中のさまざまな問題は、目に見えない私たちの内面が具体的な形になったものなのです。このことを理解するために、まず仏教の基本を通して人間の内面を学び、次に社会のさまざまな場所で今何が起きているかを、新聞・ネット・書物等によって調べます。また必要な場合はフィールドワークにも出かけます。その上で、両者の接点をディスカッションし、理解を深めていきます。

※仏教学科以外の学生が、「現代仏教学」を副専攻に選べます。

「ライフ・フィロソフィー」

「いのち」(Life) と聞いてあなたは何を思い浮かべますか。生き物がもっている寿命のことでしょうか。自分が大切に思うもののことでしょうか。また、生は死とどのように関係しているのでしょうか。日常的に使っている「いのち」ということばをあらためて見つめ直してみると、そこに思いがけない世界が広がっていることに気がつくでしょう。当たり前に使っていることばの背後に、当たり前ではない問題を見つけたとき、そこに「いのち」の哲学の入り口が開いています。「いのち」を問い、生きることを考え、互いに議論し、「いのち」への理解を拓くことが「ライフ・フィロソフィー」(Life Philosophy) です。

※哲学科以外の学生が、「ライフ・フィロソフィー」を副専攻に選べます。

〔ボランティア学〕

近年、人と人との「絆」を大切にしようとする機運が盛り上がっています。このことは、生命と生活の危機を目の当たりにした東日本大震災のあと、被災地に大勢の人々がかけつけたことにも表れています。また、このような絆は、市民同士が身近な生活場面で支え合う活動の中にも見ることができます。ボランティア学では、今日の市民生活を規定する社会の在りかたとそこで生じる諸問題の理解を深め、本来、社会的存在として助け合って生きる私たちの活動の在り方について学び合うことをめざします。

※社会学科以外の学生が、「ボランティア学」を副専攻に選べます。

〔東アジア歴史学〕

歴史学は、昔のことを研究しているだけの学問ではありません。歴史を学ぶことは、今、ここに生きている「私」は何なのかを考えることです。学科の如何を問わず、興味の対象は何であれ、その根底には必ず「歴史」があります。東アジア歴史学では、政治や文化、宗教、思想、芸術など、東洋、日本のさまざまな分野にわたる基礎的な歴史を学ぶメニューを用意しています。これに加えて、京都ならではの伝統文化に触れる講義を組み込みました。日常生活の中で当たり前のように受け入れている私たちの考え方、感じ方を、歴史の一端に触れることで見つめ直すことを期待しています。

※歴史学科以外の学生が、「東アジア歴史学」を副専攻に選べます。

〔比較文学〕

現在と過去の文学作品についてひろく考察します。日本の文学をはじめ、中国文学、英米文学、ドイツ文学など、他の国の文学作品や、日本と中国の古典作品をじっくり読んで、その作品世界を味わいます。そしていまのわれわれの眼で見て、外国文学や古典文学の内容を比較し、感じとったことをことばにすることによって、この私とほどのような存在なのか、を考えるきっかけとします。

※文学科以外の学生が、「比較文学」を副専攻に選べます。

〔表現文化学〕

イギリス、アメリカ、フランス、ドイツ、中国、韓国・朝鮮、インド、チベットなど、さまざまな国や地域の文化と言語の学びを基盤にして「表現する」ことに重点を置いたプログラムを設けています。各国の文化に対する理解を深めるとともに、それらの国々の演劇、音楽、舞踊、映画を通じ、さまざまな表現方法の在り方を追求してみましょう。今までの殻を打ち破り、自分の新たな可能性を拡げてみませんか。

※国際文化学科以外の学生が、「表現文化学」を副専攻に選べます。

〔デジタル人文学〕

仕事や日常生活にコンピュータやケータイ端末など情報通信技術（ICT）が大活躍しています。ICTを十分に使いこなすには、単にパソコンやその応用ソフトの使い方を練習するだけでは不十分です。情報学理論、コンピュータ・情報ネットワーク技術やサービスのしくみなど、基本をしっかりと学習することが重要です。デジタル人文学では、メディアリテラシーや、さまざまな応用ソフト利用法（ワープロ、表計算、プレゼンテーション、データベース、画像処理、コンピュータミュージック）などを学習することができるので、資格取得（ITパスポート試験など）にもつながり、就職活動でのアピールポイントになります。

※人文情報学科以外の学生が、「デジタル人文学」を副専攻に選べます。

〔4〕副専攻認定願

副専攻の認定を希望する者は、第4学年の4月に指導教員と相談のうえ、書面にて「副専攻認定願」（指導教員の承認印をもらうこと）を教務課へ提出してください。「副専攻認定願」の提出がない場合は、「卒業見込証明書」に副専攻を修了見込であることが証明がされず、また卒業時に「副専攻修了証明書」も発行されませんので注意してください。

「副専攻認定願」の提出後に変更を希望する場合は、教務課窓口で相談してください。

〔5〕証明書

この副専攻を修了した人には、「副専攻修了証明書」を卒業時に発行します。また、卒業後も申込みによって発行できます。

[6] 副専攻配当表

親鸞思想学

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	真宗学科	親鸞の生涯と思想	11110	4 単位
		浄土教史概説		
リンク科目群	真宗学科	真宗学概論 1	11210	4 単位
		真宗学概論 2		
		真宗学概論 3		
		真宗学概論 4		
		親鸞思想の受容と展開	11220	6 単位
		教行信証<総序・教巻>を読む		
		教行信証<行巻>を読む		
		教行信証<信巻>を読む		
		教行信証<証巻>を読む		
		教行信証<真仏土巻>を読む		
	教行信証<化身土巻>を読む			
	正信偈を読む			
	障害者・病者と共に生きる	11310		
	部落差別と大谷派教団 1			
	部落差別と大谷派教団 2			
	部落差別と浄土真宗 1			
	部落差別と浄土真宗 2			
	部落史論 1			
	部落史論 2			
反カースト運動論				
アイヌ民族と共に				
アジア侵略と宗教				
合 計				20 単位

※真宗学科以外の学生が専攻可能

聴講登録
関連日程

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

卒業要件及び開講科目

単位制

単位修得の認定

学科別卒業単
位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

現代仏教学

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	仏教学科	現代仏教論	11110	4 単位
		仏教心理学 [2017 年度以前]		
		地域仏教論 [2018 年度以降]		
リンク科目群	仏教学科	仏教文化美術論	11210	10 単位
		インド仏教思想史 1 [2017 年度以前]		
		インド仏教思想論 1 [2018 年度以降]		
		インド仏教思想史 2 [2017 年度以前]		
		インド仏教思想論 2 [2018 年度以降]		
		中国仏教思想史 1 [2017 年度以前]		
		中国仏教思想論 1 [2018 年度以降]		
		中国仏教思想史 2 [2017 年度以前]		
		中国仏教思想論 2 [2018 年度以降]		
		日本仏教思想史 1 [2017 年度以前]		
		日本仏教思想論 1 [2018 年度以降]		
		日本仏教思想史 2 [2017 年度以前]		
		日本仏教思想論 2 [2018 年度以降]		
		死生学		
	仏教と社会 [2017 年度以前]			
	仏教神話学 [2017 年度以前]			
	現代総合科目	障害者・病者と共に生きる	11310	6 単位
		インドの宗教と文化		
		部落差別と大谷派教団 1		
部落差別と大谷派教団 2				
反カースト運動論				
ジェンダー論				
非戦の系譜				
仏教福祉論				
合 計				20 単位

※仏教学科以外の学生が専攻可能

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

科目担当者
一覧表

巻末

ライフ・フィロソフィー

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	哲学科	生命倫理	11110	4 単位
		死生学		
リンク科目群	哲学科	哲学概論 1	11210	6 単位
		哲学概論 2		
		倫理学概論 1		
		倫理学概論 2		
		宗教学概論 1		
		宗教学概論 2		
		西洋哲学史 (古代) 1		
		西洋哲学史 (古代) 2		
		西洋哲学史 (中世) 1		
		西洋哲学史 (中世) 2		
		西洋哲学史 (近世) 1		
		西洋哲学史 (近世) 2		
		日本哲学		
		人間関係学		
		宗教史 1		
		宗教史 2		
		キリスト教学 1		
		キリスト教学 2		
		哲学科特殊講義 1		
		哲学科特殊講義 2		
		哲学科特殊講義 3		
		哲学科特殊講義 4		
		哲学科特殊講義 5		
		哲学科特殊講義 6		
	哲学科特殊講義 7			
	哲学科特殊講義 8			
	英米哲学文献を読む 1	11220	4 単位	
	英米哲学文献を読む 2			
	ドイツ哲学文献を読む 1			
	ドイツ哲学文献を読む 2			
	フランス哲学文献を読む 1 [2018 年度以降]			
	フランス哲学文献を読む 2 [2018 年度以降]			
	哲学科特殊演習 1			
	哲学科特殊演習 2			
哲学科特殊演習 3				
哲学科特殊演習 4				
哲学科特殊演習 5				
哲学科特殊演習 6				
哲学科特殊演習 1 5 [2017 年度以前]				
哲学科特殊演習 1 6 [2017 年度以前]				
現代総合科目	思考法入門	11310	6 単位	
	ターミナルケア論 [2014 年度以前]			
	看取りをめぐる諸問題 [2015 年度以降]			
	生命のしくみと多様性			
	自然と生物の科学			
	地球環境と生命の共進化			
	人間理解の心理学			
	人間関係の心理学 1			
人間関係の心理学 2				
合計			20 単位	

※ 哲学科以外の学生が専攻可能

ボランティア学 [2015年度以降入学生・2017年度以降編入学生適用]

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	現代総合科目	ボランティア論	11110	2単位
		生活問題論	11120	2単位
		市民活動論		
リンク科目群	社会学科	社会学概論1	11210	14単位
		社会学概論2		
		現代家族論		
		社会問題論		
		地域社会論		
		高齢者福祉		
		障害者福祉		
		児童福祉		
		心理学		
		社会学		
	社会調査論			
	現代総合科目	社会福祉概論	11310	2単位
		家庭福祉論		
		人間理解の心理学		
		犯罪心理学		
障害者スポーツ論				
合 計				20単位

※社会学科以外の学生が専攻可能

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

聴講登録

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

ボランティア学

[2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	現代総合科目	ボランティア論	11110	2単位
		生活問題論	11120	2単位
		市民活動論		
リンク科目群	社会学科	社会学概論 1	11210	14単位
		社会学概論 2		
		現代家族論 1		
		現代家族論 2		
		社会問題論 1		
		社会問題論 2		
		地域社会論 1		
		地域社会論 2		
		高齢者福祉		
		障害者福祉		
	児童福祉			
	現代総合科目	社会福祉概論	11310	2単位
		家庭福祉論		
		人間理解の心理学		
		犯罪心理学		
		障害者スポーツ論		
合 計				20単位

※社会学科以外の学生が専攻可能

東アジア歴史学 [2015年度以降入学生・2017年度以降編入学生適用]

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	歴史学科	日本史学概論 1	11110	4 単位
		日本史学概論 2		
		東洋史学概論 1		
		東洋史学概論 2		
リンク科目群	歴史学科	中国仏教史	11210	10 単位
		日本仏教史		
		世界遺産論 [2017年度以前]		
		京都の歴史と文化		
		美術史 1		
		美術史 2		
		博物館概論		
		博物館等施設演習 1		
	博物館等施設演習 2 [2017年度以前]			
	現代総合科目	図書の文化 1	11310	6 単位
		図書の文化 2		
		朝鮮半島の美術		
		漢字の世界		
		東アジアの宗教文化		
古都の歴史と文化				
仏教と美術				
人と文化				
合 計				20 単位

※歴史学科以外の学生が専攻可能

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

東アジア歴史学

[2013年度以降 2014年度以前入学生・2015年度以降 2016年度以前編入学生適用]

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	歴史学科	日本史学概論 1	11110	4 単位
		日本史学概論 2		
		東洋史学概論 1		
		東洋史学概論 2		
リンク科目群	歴史学科	中国仏教史	11210	10 単位
		日本仏教史		
		世界遺産論 [2017年度以前]		
		京都の歴史と文化		
		美術史 1		
		美術史 2		
		博物館概論		
		博物館等施設演習 1		
		博物館等施設演習 2 [2017年度以前]		
	現代総合科目	図書の文化 1	11310	6 単位
		図書の文化 2		
		人文地理学 1		
		人文地理学 2		
		朝鮮半島の美術		
		漢字の世界		
		東アジアの宗教文化		
		古都の歴史と文化		
		仏教と美術		
		人と文化		
合 計				20 単位

※歴史学科以外の学生が専攻可能

比較文学

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	文学科	国文学概論 1	11110	2 単位
		国文学概論 2		
		中国文学概論 1		
		中国文学概論 2		
	文学科	英文学概論 1	11120	2 単位
		英文学概論 2		
		ドイツ文学概論 1		
		ドイツ文学概論 2		
リンク科目群	文学科	日本文学の歴史 1 [2017 年度以前]	11210	10 単位
		日本文学の歴史 2 [2017 年度以前]		
		日本文学史 1 [2018 年度以降]		
		日本文学史 2 [2018 年度以降]		
		鑑賞日本の古典文学 1		
		鑑賞日本の古典文学 2		
		中国文学史 1		
		中国文学史 2		
		中国文学史 3		
		中国文学史 4		
		中国の詩を読む 1 [2017 年度以前]		
		中国の詩を読む 2 [2017 年度以前]		
		中国文学講読 1 [2018 年度以降]		
		中国文学講読 2 [2018 年度以降]		
		比較文化講義 1		
		比較文化講義 2		
		英米の詩と演劇を読む 1		
		英米の詩と演劇を読む 2		
		ドイツ詩人とその世界 1		
		ドイツ詩人とその世界 2		
	ドイツ文学読解 1			
	ドイツ文学読解 2			
	現代総合科目	発想から表現へ	11310	6 単位
		思考法入門		
		文章法入門 [2014 年度以前]		
		日本語表現 (実践) [2015 年度以降]		
読んで話そう				
自己表現の技法				
合 計				20 単位

※文学科以外の学生が専攻可能

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

成績評価
試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

表現文化学

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	国際文化学科	表現文化演習 1	11110	2 単位
		表現文化演習 2		
	現代総合科目	思考法入門	11120	2 単位
		文章法入門 [2014 年度以前]		
日本語表現 (実践) [2015 年度以降]				
リンク科目群	国際文化学科	比較文化講義 1	11210	12 単位
		比較文化講義 2		
		英米の文化 1		
		英米の文化 2		
		西ヨーロッパの文化 1 [2017 年度以前]		
		西ヨーロッパの文化 2 [2017 年度以前]		
		ヨーロッパの文化 1 [2018 年度以降]		
		ヨーロッパの文化 2 [2018 年度以降]		
		東アジアの文化 1		
		東アジアの文化 2		
		南アジアの文化 1 [2017 年度以前]		
		南アジアの文化 2 [2017 年度以前]		
		インド学 [2018 年度以降]		
		地域仏教論 [2018 年度以降]		
	現代総合科目	発想から表現へ	11310	4 単位
		読んで話そう		
		自己表現の技法		
		大学での学びを知る		
		芸術表現		
	書道			
合 計				20 単位

※国際文化学科以外の学生が専攻可能

デジタル人文学 [2015年度以降入学生・2017年度以降編入学生適用]

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	人文情報学科	情報産業論	11110	2単位
	現代総合科目	デジタル人文学概論	11120	2単位
リンク科目群	人文情報学科	プログラミング論	11210	8単位
		データベース概論		
		デジタルコンテンツ論		
		情報社会の権利と法律		
		ネットワーク論		
	現代総合科目	情報科学	11310	8単位
		情報メディアと社会		
		人文学とコンピュータ		
		デジタル時代の知的財産権		
		ワード・プロセッシング入門		
		ワード・プロセッシング応用		
		PC利用による表計算入門		
		PC利用による表計算応用		
		PC利用によるプレゼンテーション		
		PC利用によるレポート・論文技法		
		画像処理入門		
		画像処理応用		
		PCミュージック入門		
		PCミュージック応用		
		Webサイト構築入門		
Webサイト構築応用				
人文学データベース入門				
合 計				20単位

※人文情報学科以外の学生が専攻可能

※iPadを個人負担で準備すること

※副専攻として履修する場合、キャリア形成系では、「画像処理入門」・「画像処理応用」、 「PCミュージック入門」・「PCミュージック応用」、 「Webサイト構築入門」・「Webサイト構築応用」を含めることが望ましい。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者
一覧表

デジタル人文学

[2013 年度以降 2014 年度以前入学生・2015 年度以降 2016 年度以前編入学生適用]

科目群	所属	科目名	集計先コード	最低履修単位数
コア科目群	人文情報学科	情報産業論	11110	2 単位
	現代総合科目	デジタル人文学概論	11120	2 単位
リンク科目群	人文情報学科	プログラミング論	11210	8 単位
		データベース概論		
		デジタルコンテンツ論		
		情報社会の権利と法律		
		ネットワーク論		
		科学史		
	現代総合科目	情報科学	11310	8 単位
		情報メディアと社会		
		人文学とコンピュータ		
		デジタル時代の知的財産権		
		ワード・プロセッシング入門		
		ワード・プロセッシング応用		
		PC 利用による表計算入門		
		PC 利用による表計算応用		
		PC 利用によるプレゼンテーション		
		PC 利用によるレポート・論文技法		
		画像処理入門		
		画像処理応用		
		PC ミュージック入門		
		PC ミュージック応用		
Web サイト構築入門				
Web サイト構築応用				
人文学データベース入門				
合 計			20 単位	

※人文情報学科以外の学生が専攻可能

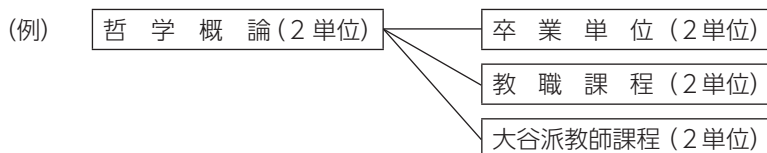
※iPad を個人負担で準備すること

※副専攻として履修する場合、キャリア形成系では、「画像処理入門」・「画像処理応用」、「PC ミュージック入門」・「PC ミュージック応用」、「Web サイト構築入門」・「Web サイト構築応用」を含めることが望ましい。

1. 時間割作成

[1] 時間割作成について

- ① 第2章「4. 学科別卒業単位配当表」、第4章「1. 進級基準」を確認のうえ、履修計画を立てます。
- ② 各学年の必修科目を選びます。
- ③ 卒業・進級、資格（諸課程）の取得等で必要な科目を選びます。
※卒業所要の科目のうち、諸課程で必要としている科目と同じ科目があれば、下記のように1科目でいずれの所要も充たすことができます。



- ④ 科目によって、学年や所属学科等による受講の制限があります。
確認のため、第2章「6. 開講科目表」、「授業計画(Web シラバス)」や掲示物を見てください。
- ⑤ 卒業所要について、1年間に40単位前後（諸課程科目を除く）を目安として、時間割を作成してください。
- ⑥ 受講する科目が選択できたら、専門の学問を進めていくうえでの指導が必要になりますので、指導教員の指導を必ず受けて、聴講登録してください。

[2] 受講生数制限をする科目について

科目によっては、受講生数制限をします。そのような科目については、以下の方法で抽選を実施します。

- ① **Web 聴講登録期間後の抽選**
3月29日（木）～4月4日（水）のWeb 聴講登録期間に受講者多数のため教室定員がオーバーした科目
- ② **第1回目の授業での抽選**
第1回目の授業時に教室定員がオーバーした科目
- ③ **Web 本登録期間後の抽選**
上記以外で、4月のWeb 本登録期間後に教室定員がオーバーした科目

	対象科目	抽選方法
① Web 聴講登録 期間後の 抽選	Web 聴講登録期間に受講希望者が多数となり教室定員がオーバーした科目	Web 聴講登録期間に必ず科目の登録を行ってください。 教室定員がオーバーした場合は、登録者の中から抽選を行います。抽選となった場合は、 4月5日（木） 以降にWeb 聴講登録システムで合否を確認してください。
② 授業での 抽選	第1回目の授業時に教室定員がオーバーした科目	その場で「受講カード」を集め、カード提出者について抽選を行い、翌日に結果を掲示発表します。抽選にもれた場合には、Web 本登録期間に代替科目を登録してください。
③ Web 本登録 期間後の 抽選	上記以外	随時、掲示と授業時の指示により処置を伝えますので注意してください。 特に 後期科目の定員オーバーについては、前期中に抽選を行い、結果を掲示発表します。 抽選にもれた場合には、後期の修正登録期間に代替科目を登録してください。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

[3] 学年ごとの注意事項 【2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用】

本学では、学年ごとに必修科目があります。自分がどの科目を今年度履修しなくてはならないか、以下の表および第2章「4. 学科別卒業単位配当表」で確認のうえ、必ず聴講登録してください。

クラス指定は掲示板等で発表します。 指定のある科目は、指定クラス以外では受講できません。ただし、卒業の見込みがない場合は教務課に申し出てください。

第1学年の必修科目

学 科	科 目 名		単位数	注 意
全 学 科 共 通	総 合 科 目	人間学 I	4	クラス配当表で自分のクラスを確認してください。この科目の担当者が副指導教員になります。
	大 学 導 入	学びの発見	2	クラス配当表で自分のクラスを確認してください。 ※「英語」のみ英語プレイスメント（クラス分け） テストの結果により、授業開始日までに教務課 掲示板で発表します。
	第1外国語	英語	4	
	第2外国語	ドイツ語、フランス語 中国語、韓国・朝鮮語	4	
	学 科 導 入	専門の技法	2	
	演 習	演習 I	4	
仏 教 学 科	実 践 研 究	仏教学基礎演習	2	クラス配当表で自分のクラスを確認してください。
歴 史 学 科	実 践 研 究	歴史学基礎演習	2	
国際文化学科	概 論	国際文化概論	4	
	実 践 研 究	英語基礎演習	4	
人文情報学科	概 論	人文情報学概論	2	
		コンピュータ概論	2	
	実 践 研 究	人文情報学基礎演習 I	4	
		人文情報学基礎演習 II	4	

第2学年の必修科目

学 科	科 目 名		単位数	注 意
全 学 科 共 通	演 習	演習 II	4	コース決定及びクラス別懇談会時に「コース届」を提出し、コースと演習 II のクラスを決定してください。事前に指定されている場合もありますので、掲示板等で確認してください。この科目の担当者が指導教員になります。

第3学年の必修科目

学 科	科 目 名		単位数	注 意
全 学 科 共 通	演 習	演習 III	4	この科目の担当者が指導教員になります。

第4学年の必修科目

学 科	科 目 名		単位数	注 意
全 学 科 共 通	演 習	演習 IV	4	この科目の担当者が指導教員になります。
	卒 業 論 文	卒業論文	8	指導教員担当の「卒業論文」を登録してください。

※前期卒業論文提出予定者は、「卒業論文（前期卒業用）」を登録してください。

2. 聴講登録

[1] 登録単位数制限について **2017年度以前入学生適用**

前期、後期及び年間で登録できる単位数には制限があり、それぞれの制限単位数を超えてはいけません。制限単位数を超えて登録した単位数は削除することになります。

※学科によって単位数が異なりますので注意してください。

《教育・心理学科以外の学科》

前期登録単位数制限		後期登録単位数制限		年間登録単位数制限
前期完結科目		後期完結科目		
24 単位まで	+	24 単位まで	=	48 単位まで

《教育・心理学科》

前期登録単位数制限		後期登録単位数制限		年間登録単位数制限
前期完結科目		後期完結科目		
26 単位まで	+	26 単位まで	=	52 単位まで

《注意事項》

以下の期別の科目は、それぞれ単位数の含まれ方が異なりますので注意してください。

- * 通年科目は前期・後期に単位数が分けられます。
- * 集中科目は、集中前期は「前期」、集中後期は「後期」に単位数が含まれます。
- * 卒業論文は、登録単位数制限には含みません。

《登録単位数制限に含まれない科目》

以下の対象の科目は、登録単位数制限に含まれません。

- ① 諸課程科目
諸課程科目とは、博物館学課程の「博物館実習」、真宗大谷派教師課程の「声明作法」等、卒業単位に含まれない諸課程単独開講科目のことです。（「Ⅱ. 資格の取得」の「9. 開講科目表」にて確認してください。）
「部落史論1」（現代総合科目歴史文化系開講科目）のような、諸課程と卒業単位の両方に使える科目は、登録単位数にカウントします。
- ② 大学コンソーシアム京都が提供する「単位互換制度」で認定を受けることができる他大学の科目。
但し、「インターンシップ1大学コンソ京都」は登録単位数にカウントします。

《編入学生の登録単位数制限》

第3学年編入学生（3・4学年とも）登録単位数制限はありません。

指導教員とよく相談して2年間の計画を立ててください。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

卒業要件及び開講科目

単位修得の認定
学科別卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

[2] 聴講登録について

聴講登録関連日程でもお知らせしました通り、聴講科目の登録・修正・辞退は「OTANI UNIPA」から行います。

※各自、『履修要項』、「授業計画 (Web シラバス)」を確認して、時間割を決定してください。
 ※期間によっては、登録・修正・辞退と分かれていますので、注意してください。
 ※必ず登録完了画面まで進んでください。完了画面まで進まないと登録はされませんので注意してください。

1. 登録方法

・「OTANI UNIVERSITY UNIVERSAL PASSPORT」へアクセスし、ログイン。



ID(学生番号)とパスワードを入力し、ログインしてください。

※パスワードが分からない場合は、教務課で再発行の手続きを行ってください。

2. 履修登録画面へアクセス

・「UNIVERSAL PASSPORT」ログインが完了すれば、「履修登録」を選択。



3. 授業の選択

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	選択	選択	選択	選択	選択
2	選択			選択	選択

聴講を希望する曜日・時限の「選択」をクリックします。

授業の追加 閉じる

2017年度 前期 木1

授業コード	科目名	単位
<input checked="" type="checkbox"/> 0445000	ドイツ語のしくみと表現(初級)1【藤原 美沙】	1.0
<input type="checkbox"/> 750263000	英語会話(初級)15【H.C.SCOTT】	1.0
<input type="checkbox"/> 751215000	スポーツと健康の科学1【竹内 早耶香】	2.0

確定

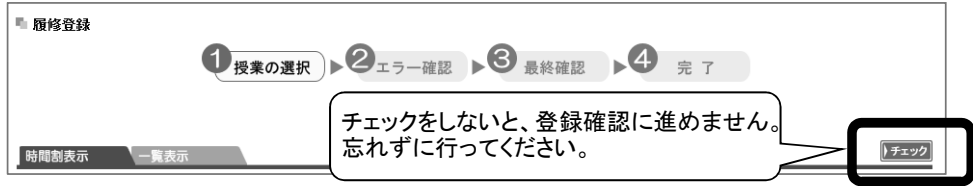
聴講可能な科目が一覧で表示されるので、聴講を希望する科目に☑をし、「確定」を押してください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	選択	選択	選択	選択 削除	選択
2				<input checked="" type="checkbox"/> 350445000 ドイツ語のしくみと表現(初級)1【藤原 美沙】	選択

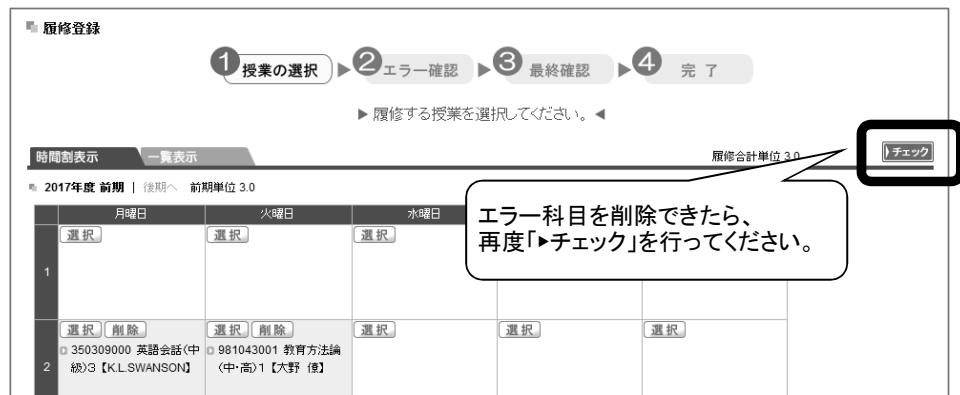
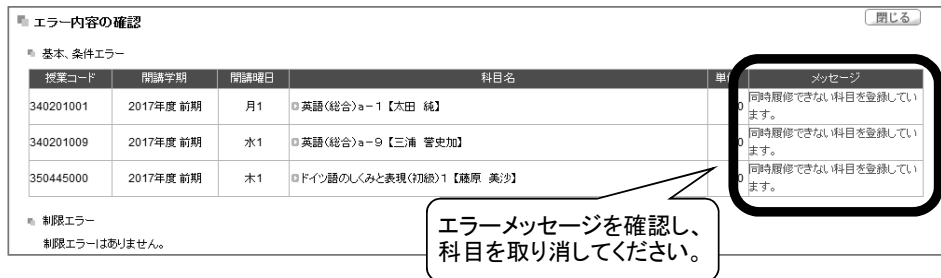
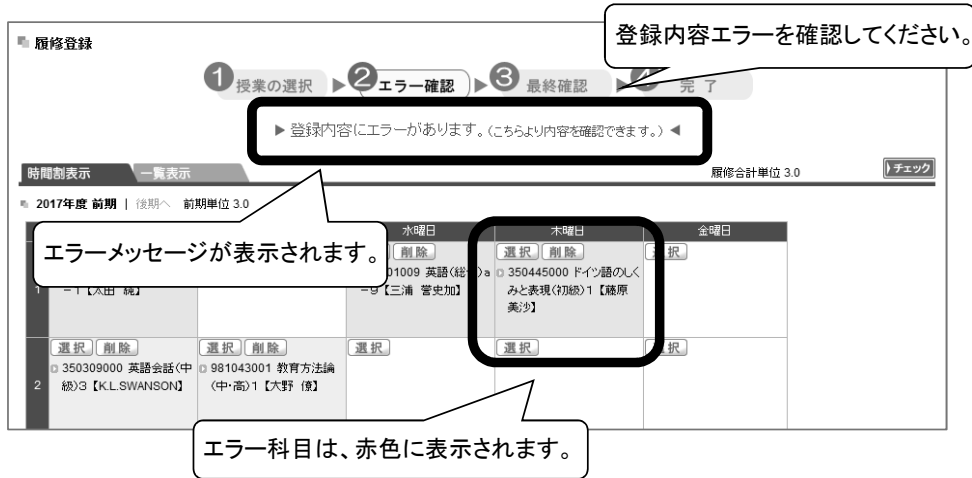
選択した科目が、表示されます。同様にその他の科目も登録をしてください。

4. エラーチェック

- ・聴講希望科目を選択し、「▶チェック」をクリックしてエラーチェックを実施。



- ・エラーがある場合は、赤字にて「登録内容にエラーがあります」と表示されます。



I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

卒業要件及び開講科目

単位修得の認定

学科別卒業単位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎科目外国語

現代総合科目・自己選択科目

スポーツ科目

国際交流科目

コンソーシアム単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部履修規程

文学部進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派教師課程

社会教育課程【任用資格】

社会福祉士国家試験受験資格課程

初級スポーツ指導員

日本心理学会認定心理士

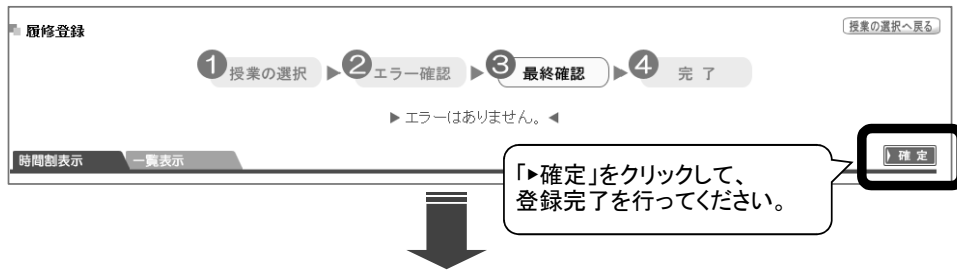
社会福祉主事【任用資格】

開講科目表

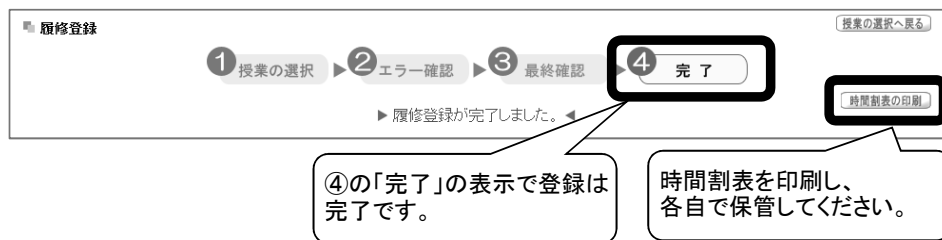
科目担当者一覧表

5. 登録の完了

- ・「エラーはありません」と表示後、「▶確定」を選択して登録完了してください。
- ※「▶確定」ボタンを押さないと聴講登録されませんので、注意してください。

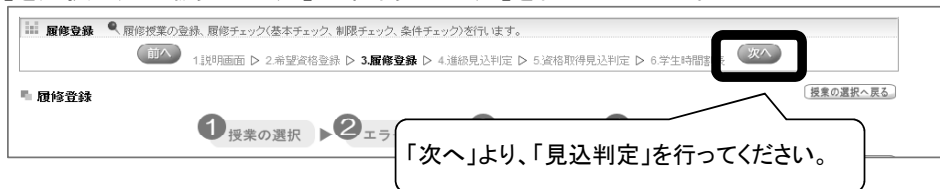


- ・登録が完了すれば、「時間割の印刷」を選択して時間割を各自で保管してください。



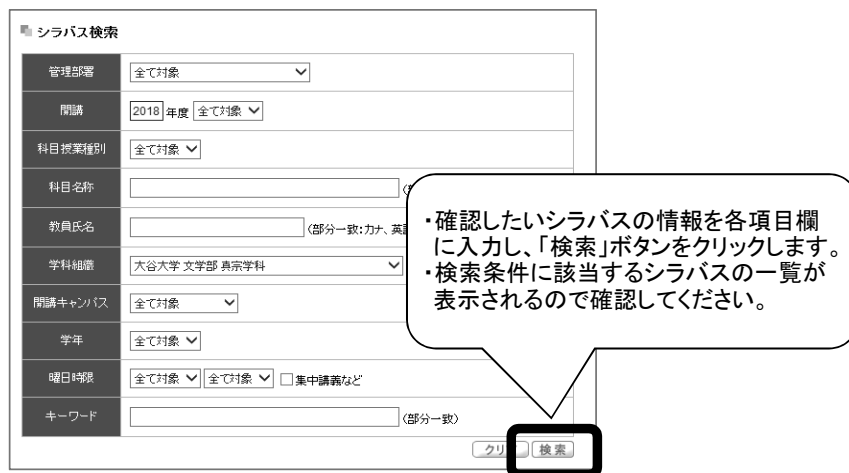
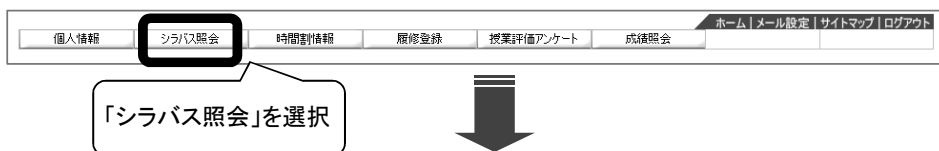
6. 進級見込・卒業見込判定

- ・聴講登録が完了すれば、進級見込・卒業見込があるかを必ず確認してください。
- ・「次へ」を選択し、「進級見込判定」・「卒業見込判定」を行ってください。



7. 授業計画(シラバス)照会

- ・シラバス情報を確認するには、「シラバス照会」を選びます。
- ※シラバスは、授業時間割表からも確認可能です。



8. 注意事項

- ・在学中に一度単位を修得した科目を再度履修することはできません。
- ただし、「選択外国語」「〇〇特殊講義」「〇〇特殊演習」として開講されている科目は、繰り返し履修することが認められています。

9. 副専攻

・副専攻登録を希望する学生は、下記の方法で登録を行ってください。

個人情報 シラバス照会 時間割情報 **履修登録** 授業評価アンケート 成績照会 ホーム | メール設定 | サイトマップ | ログアウト

「履修登録」→「希望資格登録」を選択

希望資格登録

2017年度 前期

	資格名称	登録状況
<input type="checkbox"/>	中学校教諭1種免許状 宗教	
<input type="checkbox"/>	中学校教諭1種免許状 社会	
<input type="checkbox"/>	ライフ・フィロソフィー	
<input type="checkbox"/>	ボランティア学	
<input type="checkbox"/>	東アジア歴史学	
<input type="checkbox"/>	比較文学	
<input type="checkbox"/>	表現文化学	
<input type="checkbox"/>	デジタル人文学	

申請 申込取消

希望する副専攻に☑をして、「申請」を押してください。
資格登録画面のため、登録に間違いがないよう注意してください。

【注意点】

副専攻の登録は、一度申請をすると変更ができません。
変更を希望する学生は、教務課窓口にて相談してください。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

卒業要件及び開講科目

単位制

単位修得の認定

学科別卒業単位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎科目外国語

現代総合科目・自己選択科目

スポーツ科目

国際交流科目

コンソーシアム単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部履修規程

文学部進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派教師課程

社会教育課程【任用資格】

社会福祉士国家試験受験資格課程

初級スポーツ指導員

日本心理学会認定心理士

社会福祉主事【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者一覧表

3. 共通基礎科目外国語

【2013年度以降 2017年度以前入学生・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用】

〈第1学年〉

「第1外国語」…… 英語

「第2外国語」…… ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語

「第2外国語」は、入学書類送付時に申請した語学を1つ履修します。
一旦決定した第2外国語の種類を変更することはできません。

第1学年において、「第1外国語」と「第2外国語」を、それぞれ週2回ずつ受講します。
履修すべきクラスは指定されています。必ず掲示ならびに配付物で確認してください。

「第1外国語」…前期週2回（2単位）＋後期週2回（2単位）＝年間合計4単位
「第2外国語」…前期週2回（2単位）＋後期週2回（2単位）＝年間合計4単位

〈再履修授業について〉

「第1外国語」、「第2外国語」ともに、第1学年で不合格となった授業は、**第2学年以降に「再履修授業」を受講します（第3学年以降も同様）。**

- ① 不合格になった授業分（単位数分）を「開講科目表」で確認し、必要な科目を受講します。
- ② 前期・後期とも「第1外国語」「第2外国語」それぞれ2科目（2単位分）まで登録できます。例えば、「第1外国語」が3科目（3単位分）不足している学生は、前期に2科目（2単位分）、後期に1科目（1単位分）を履修します。
- ③ 「再履修授業」は、**希望する授業を自分で選択し受講**します。なお、受講希望者が多数に及んだ場合、受講抽選を行う場合がありますので、**必ず第1回目の授業に出席し「受講カード」を担当教員に提出してください。**

第3学年に編入学してきた場合

編入学時に認定された単位が不足している人は、「第1外国語」「第2外国語」ともに「再履修授業」を履修することとなります。授業の選択については、前述の〈第1学年〉の説明を参照してください。

※編入学生は、第1学年の授業を第3学年に履修する必要があります。そのため、正規クラスでは時間割が重複し必要な授業が受講できませんので、再履修授業を履修するようにしてください。

4. 現代総合科目・自己選択科目

【2013年度以降 2017年度以前入学・2015年度以降 2019年度以前編入学生適用】

[1] 現代総合科目（社会学科社会福祉学コース、教育・心理学科を除く）

1) 現代総合科目とは

以下の4つの分野において、各自の学術的な興味・関心に見合う専門科目を自由に選択し、学修するためのものです。幅広い教養を身につけ、知性を高めるとともに、専門研究に資する知識を修得することを目指します。

それぞれの分野では、みなさんの興味・関心等に応じて体系的な履修ができるよう、開講科目を3つ（コミュニケーション系のみ5つ）のテーマに分類しています。

各分野の開講科目については、第2章「6. 開講科目表」や「授業計画（Web シラバス）」で確認してください。

コミュニケーション系（実用会話／文化・社会／検定対策／アカデミック／留学）【4単位必修】

語学力を高めるとともに、多様な文化への理解や国際的なコミュニケーション能力を養うことをテーマに構成されています。

キャリア形成系（キャリアデザイン／情報リテラシー／文章表現）【4単位必修】

社会的に貢献するための幅広い知見を身につけることをテーマに構成されています。

自然生命系（自然と環境／心とからだ／スポーツと健康）【4単位必修】

自らを取り巻く自然環境を知り、命やこころへの理解を深めることをテーマに構成されています。

歴史文化系（世界の歴史／宗教と文化／人権問題）【4単位必修】

世界の歴史と文化を多角的に理解することをテーマに構成されています。

2) 登録および履修について

各分野の開講科目を、第2章「6. 開講科目表」や「授業計画（Web シラバス）」で確認し、4つの分野のそれぞれから、興味・関心のある科目を選択し、履修してください。

注意！

それぞれの分野で設定しているテーマは、体系的に履修することができるよう開講科目を分類するためのものです。あくまでも、最低履修単位数は4つの分野（コミュニケーション系、キャリア形成系、自然生命系、歴史文化系）のみに設定していますので、注意してください（4つの分野の下に設けたテーマには、最低履修単位数は設定されていません）。

3) コミュニケーション系について

開講科目は、科目の種類とレベルの定義を次のとおり設定しています。また、**みなさんの興味・関心等に応じた履修ができるよう、それぞれの科目の目的・内容に応じて、開講科目を5つのテーマに分類していますので、履修の際の参考としてください**（詳細については、「③テーマについて」「コミュニケーション系テーマ分類一覧」を参照してください）。なお、科目の内容によっては、複数のテーマにまたがって記載されている場合もあります。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

卒業要件及び開講科目

単位修得の認定

学科別卒業単位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎科目外国語

現代総合科目・自己選択科目

聴講登録

スポーツ科目

国際交流科目

コンソーシアム単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部履修規程

文学部進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派教師課程

社会教育課程【任用資格】

社会福祉士国家試験受験資格課程

初級スポーツ指導員

日本心理学会認定心理士

社会福祉主事【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者一覧表

①科目の種類

各語学における1単位で開講している科目の種類を以下の5種類に統一しています。また、それ以外にも週に2回以上履修する科目や、語学研修科目も開講しています。

「読解」… 各語学における「読む力」を身につけることを目指す。

「会話」… 各語学における「話す力」と「聴く力」を身につけることを目指す。

「作文」… 英語における「書く力」を身につけることを目指す。

「文法」… 英語における「文法」を身につけることを目指す。

「しくみと表現」… 各語学における「書く力」と「文法」を中心とした「総合的な力」を身につけることを目指す。

②レベルの定義

英語と第2外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語）に分けて、レベルの定義を分けて開講していますので、履修する際に参考にしてください。

		レベル定義	
英語	初級	英語読解	文法を確認しながら、平易な英文を正確に読みこなす。
		英語会話	日常生活において使用される基本的な英語表現を学び、英語を聞き話すことに慣れる。
		英作文	自分の言いたいことを簡単な英文で表現しながら、英語を書くことに慣れる練習をする。
		英文法	英文法の基礎固め。
	中級	英語読解	時事英語や文化・社会に関するエッセイを正確に読む。
		英語会話	様々な状況下で使われる英語表現を学び、より正確に聞き、効果的に話す能力を身につける。
		英作文	自分の考えを断片的に書くのではなく、パラグラフ（段落）として書くにはどうすればよいかを学び、最終的にある程度のまとまった文章を書けるようにする。
		英文法	英文法の基本と応用。
	上級	英語読解	論理的・思索的・文学的文章を読み味わう。 (留学をめざす者、留学から帰国した者。または、英語検定試験 ^{*1} 準1級以上をめざす者。)
		英語会話	様々なテーマについて、自分の意見を英語で発表し、高度なコミュニケーション力を身につける。 (留学をめざす者、留学から帰国した者。または、英語検定試験準1級以上をめざす者。)
		英作文	手紙・履歴書・願書・ビジネスレターなどの異なる様式に沿った英文の書き方を学び、与えられたテーマに沿ったエッセイやストーリーの書き方を学ぶ。 (留学をめざす者、留学から帰国した者。または、英語検定試験準1級以上をめざす者。)
		英文法	言語学的アプローチによる一歩進んだ英文法。 (留学をめざす者、留学から帰国した者。または、英語検定試験準1級以上をめざす者。)
ドイツ語	初級	ドイツ語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。	
	中級	ドイツ語を学んだ経験があり、さらに基礎力を伸ばしたい者。 あるいは、ドイツ語技能検定試験 ^{*2} 3級以上のドイツ語力の習得をめざす者。	
	上級	留学をめざす者、留学から帰国した者、 及びドイツ語技能検定試験2級以上のドイツ語力の習得をめざす者。	
フランス語	初級	フランス語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。	
	中級	フランス語を学んだ経験があり、基本的なフランス語力を伸ばしたい者。 あるいは、実用フランス語技能検定試験 ^{*3} 3級以上の取得をめざす者。	
	上級	中級を既に習得し、留学や実用フランス語技能検定試験2級以上の取得をめざす者。	

中国語	初級	中国語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。 中国語検定試験 ^{※4} 準4級～4級をめざす者。
	中級	中国語を学んだ経験があり、基本的な中国語力を伸ばしたい者。 中国語検定試験 4級以上をめざす者。
	上級	留学をめざす者、留学から帰国した者、 及び中国語検定試験 3級レベルまたはそれ以上の検定試験をめざす者。
韓国・朝鮮語	初級	韓国・朝鮮語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。
	中級	韓国・朝鮮語を学んだ経験があり、ハングル能力検定試験 ^{※5} 4級以上、 または TOPIK (韓国語能力検定試験) ^{※6} 3級以上をめざす者。
	上級	留学をめざす者、留学から帰国した者、及びハングル能力検定試験準2級以上、 または TOPIK (韓国語能力検定試験) 4級以上をめざす者。

各検定試験の詳細については、各自でホームページを参照すること。

- ※1 英語検定試験：公益社団法人日本英語検定協会が実施している検定試験。
1級（上級）～5級（初級）までの7段階が設けられている。
- ※2 ドイツ語技能検定試験：公益財団法人ドイツ語学文学振興会が実施している検定試験。
1級（上級）～5級（初級）までの6段階が設けられている。
- ※3 実用フランス語技能検定試験：公益財団法人フランス語教育振興協会が実施している検定試験。
1級（上級）～5級（初級）までの7段階が設けられている。
- ※4 中国語検定試験：一般財団法人日本中国語検定協会が実施している検定試験。
1級（上級）～準4級（初級）までの6段階が設けられている。
- ※5 ハングル能力検定試験：NPO 法人ハングル能力検定協会が実施している検定試験。
1級（上級）～5級（初級）までの6段階が設けられている。
- ※6 TOPIK (韓国語能力検定試験)：財団法人韓国教育財団が実施している検定試験。
1級（初級）～6級（上級）までの6段階が設けられている。

③テーマについて

①実用会話（旅行、観光、ビジネス）

旅行、観光、ビジネスで外国語を利用したいと考えているみなさんに受講してほしい科目です。これらの科目をきっかけにして、実用的な語学力を伸ばしましょう。

②文化・社会（新聞、インターネット、音楽）

さまざまなメディアを通じて生きた語学に触れたいと考えているみなさんに受講してほしい科目です。SNS やストーリーミング配信など、インターネットを通じて外国の文化にふれるチャンスは圧倒的に増えました。文化と社会を学ぶことは語学学習をより一層深めることにつながります。

③検定対策

各種の語学能力検定試験を受験しようと考えているみなさんに受講してほしい科目です。毎年多くの人が外国語の検定試験を受験していますが、そこで必要とされるスキルや知識を身につけるのに役立ちます。

④アカデミック

ゼミの発表やレポート、卒業研究作成のため、外国語を学びたいみなさんに受講してほしい科目です。初級文法の復習に加えて中級文法を学ぶことで、文章を正確に読めるようになることを目指します。

⑤留学

異文化理解、特に留学を考えているみなさんに受講してほしい科目です。留学は大学で学んだ外国語を現地で実践するプログラムで、語学研修や長期留学の制度があります。外国の文化や風俗・習慣に慣れ親しみ、世界とのつながりの中で自分を成長させていく絶好のチャンスです。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

卒業要件及び開講科目

単位制

単位修得の認定

学科別卒業単位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎科目外国語

現代総合科目・自己選択科目

聴講登録

スポーツ科目

国際交流科目

コンソーシアム単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部履修規程

文学部進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派教師課程

社会教育課程【任用資格】

社会福祉士国家試験受験資格課程

初級スポーツ指導員

日本心理学会認定心理士

社会福祉士【任用資格】

開講科目表

科目担当者一覧表

巻末

科目担当者

一覧表

<コミュニケーション系テーマ分類一覧>

	実用会話 (旅行、観光、ビジネス)	文化・社会 (新聞、インターネット、音楽)	検定対策	アカデミック	留学
	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称
英語	英語読解 (初級) 1	英語読解 (初級) 5	英語読解 (初級) 3	英語読解 (初級) 3	英語読解 (中級) 3
	英語読解 (初級) 2	英語読解 (初級) 6	英語読解 (初級) 4	英語読解 (初級) 4	英語読解 (中級) 4
	英語読解 (初級) 7	英語読解 (初級) 7	英語読解 (初級) 5	英文法 (初級) 1	英作文 (中級) 1
	英語読解 (初級) 8	英語読解 (初級) 8	英語読解 (初級) 6	英文法 (初級) 2	英作文 (中級) 2
	英語会話 (初級) 1	英語読解 (中級) 3	英文法 (初級) 1	英作文 (中級) 1	英語のしくみと表現 (中級) 1
	英語会話 (初級) 2	英語読解 (中級) 4	英文法 (初級) 2	英作文 (中級) 2	英語のしくみと表現 (中級) 2
	英語会話 (初級) 3	英語会話 (中級) 1	英語読解 (中級) 1	英文法 (中級) 1	英語会話 (中級) 1
	英語会話 (初級) 4	英語会話 (中級) 2	英語読解 (中級) 2	英文法 (中級) 2	英語会話 (中級) 2
	英語会話 (初級) 5	英語会話 (中級) 5	英語読解 (中級) 3	英語のしくみと表現 (中級) 1	英語会話 (中級) 3
	英語会話 (初級) 6	英語会話 (中級) 6	英語読解 (中級) 4	英語のしくみと表現 (中級) 2	英語会話 (中級) 4
	英語会話 (初級) 7	英語会話 (上級) 1	英文法 (中級) 1	英語会話 (中級) 3	英語会話 (中級) 5
	英語会話 (初級) 8	英語会話 (上級) 2	英文法 (中級) 2	英語会話 (中級) 4	英語会話 (中級) 6
	英語会話 (初級) 9	イギリス文化研究・実践英語	英語読解 (上級) 3	英語読解 (上級) 1	英語読解 (上級) 1
	英語会話 (初級) 10	カナダ文化研究・実践英語	英語読解 (上級) 4	英語読解 (上級) 2	英語読解 (上級) 2
	英語会話 (初級) 11		英文法 (上級) 1	英語会話 (上級) 1	英語会話 (上級) 1
	英語会話 (初級) 12		英文法 (上級) 2	英語会話 (上級) 2	英語会話 (上級) 2
	英語会話 (初級) 13			英語会話 (上級) 3	英語会話 (上級) 3
	英語会話 (初級) 14			英語会話 (上級) 4	英語会話 (上級) 4
	英語会話 (初級) 15			英作文 (上級) 1	英作文 (上級) 1
	英語会話 (初級) 16			英作文 (上級) 2	英作文 (上級) 2
英作文 (初級) 1			英文法 (上級) 1	インテンシブ英会話 (中級) 1	
英作文 (初級) 2			英文法 (上級) 2	インテンシブ英会話 (中級) 2	
英語会話 (中級) 1				イギリス文化研究・実践英語	
英語会話 (中級) 2				カナダ文化研究・実践英語	
英語会話 (中級) 5					
英語会話 (中級) 6					
インテンシブ英会話 (中級) 1					
インテンシブ英会話 (中級) 2					
独語	ドイツ語会話 (初級) 1	ドイツ語会話 (初級) 1	ドイツ語読解 (初級) 1	ドイツ語のしくみと表現 (初級) 1	ドイツ語会話 (初級) 1
	ドイツ語会話 (初級) 2	ドイツ語会話 (初級) 2	ドイツ語読解 (初級) 2	ドイツ語のしくみと表現 (初級) 2	ドイツ語会話 (初級) 2
	インテンシブドイツ語会話 (初級) 1	ドイツ語読解 (中級) 1	ドイツ語読解 (中級) 1	ドイツ語読解 (中級) 1	ドイツ語読解 (中級) 1
	インテンシブドイツ語会話 (初級) 2	ドイツ語読解 (中級) 2	ドイツ語読解 (中級) 2	ドイツ語読解 (中級) 2	ドイツ語読解 (中級) 2
		ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)*	ドイツ語読解 (上級) 1	ドイツ語読解 (上級) 1	インテンシブドイツ語会話 (初級) 1
		ドイツ語読解 (上級) 2	ドイツ語読解 (上級) 2	インテンシブドイツ語会話 (初級) 2	
仏語	フランス語会話 (初級) 1	フランス語読解 (初級) 1	フランス語読解 (初級) 1	フランス語読解 (中級) 1	フランス語読解 (中級) 1
	フランス語会話 (初級) 2	フランス語読解 (初級) 2	フランス語読解 (初級) 2	フランス語読解 (中級) 2	フランス語読解 (中級) 2
	フランス語会話 (中級) 1	フランス語読解 (中級) 1	フランス語読解 (中級) 1	フランス語のしくみと表現 (中級)	フランス語会話 (中級) 1
	フランス語会話 (中級) 2	フランス語読解 (中級) 2	フランス語読解 (中級) 2	フランス語のしくみと表現 (上級)	フランス語会話 (中級) 2
		ヨーロッパの宗教と文化(フランス)*	フランス語のしくみと表現 (初級) 1		
		フランス語のしくみと表現 (初級) 2			
中国語	中国語会話 (初級) 1	中国語読解 (初級) 1	中国語読解 (初級) 1	中国語のしくみと表現 (初級) 1	中国語会話 (上級) 1
	中国語会話 (初級) 2	中国語読解 (初級) 2	中国語読解 (初級) 2	中国語のしくみと表現 (初級) 2	中国語会話 (上級) 2
	中国語会話 (初級) 3	中国語読解 (中級) 1	中国語読解 (初級) 3	中国語のしくみと表現 (中級) 1	中国文化事情・実践中国語 1
	中国語会話 (初級) 4	中国語読解 (中級) 2	中国語読解 (初級) 4	中国語のしくみと表現 (中級) 2	中国文化事情・実践中国語 2
	中国語会話 (中級) 1	中国語文化事情・実践中国語 1	中国語のしくみと表現 (初級) 1		
	中国語会話 (中級) 2	中国語文化事情・実践中国語 2	中国語のしくみと表現 (初級) 2		
	中国語会話 (上級) 1				
中国語会話 (上級) 2					
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語会話 (初級) 1	韓国・朝鮮語読解 (中級) 1	韓国・朝鮮語読解 (初級) 1	韓国・朝鮮語のしくみと表現 (初級) 1	韓国・朝鮮語読解 (中級) 1
	韓国・朝鮮語会話 (初級) 2	韓国・朝鮮語読解 (中級) 2	韓国・朝鮮語読解 (初級) 2	韓国・朝鮮語のしくみと表現 (初級) 2	韓国・朝鮮語読解 (中級) 2
	韓国・朝鮮語会話 (中級) 1	韓国・朝鮮語会話 (中級) 1	韓国・朝鮮語のしくみと表現 (初級) 1	韓国・朝鮮語読解 (中級) 2	韓国・朝鮮語会話 (中級) 1
	韓国・朝鮮語会話 (中級) 2	韓国・朝鮮語読解 (上級) 1	韓国・朝鮮語のしくみと表現 (初級) 2	韓国・朝鮮語読解 (上級) 1	韓国・朝鮮語読解 (上級) 1
		韓国・朝鮮語読解 (上級) 2	韓国・朝鮮語読解 (中級) 1	韓国・朝鮮語読解 (上級) 2	韓国・朝鮮語読解 (上級) 2
		韓国文化研究・実践韓国語	韓国・朝鮮語読解 (中級) 2		韓国文化研究・実践韓国語
		韓国・朝鮮語読解 (上級) 1			
		韓国・朝鮮語読解 (上級) 2			

*「ヨーロッパの宗教と文化 (ドイツ)」「ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)」は、現代総合科目歴史文化系の開講科目

[2] 自己選択科目

1) 自己選択科目とは

自己選択科目は、他学科の学科専門科目や現代総合科目などから、関心や興味に応じて自由に履修できるように設けられたものです。

2) 自己選択科目の履修

上記のことから、自己選択科目は、科目が開設されているわけではありませんので注意してください。また下記にあげた単位のうち、必要単位数以上に修得した単位は、この自己選択科目に集計されますので、確認の上、履修を進めてください。

【自己選択科目に集計される単位】

- 1) 所属する学科の学科専門科目のうち、「概論」「講義」「実践研究」で所要単位数以上履修した単位。
- 2) 現代総合科目で、必要単位数以上履修した単位。
- 3) 他学科の受講可能な学科専門科目を履修した単位。
- 4) 入学前に取得した単位、単位互換制度や留学先で取得し認定された単位。

※自己選択科目に集計されない単位

- 1) 共通基礎科目の単位
- 2) 学科専門科目の「学科導入」「演習」「卒業論文」の単位
- 3) 1つの科目の単位を分割して、自己選択科目で集計する場合
- 4) 卒業所要に含まれない諸課程科目の単位

聴講登録 関連日程
I. 履修要領
教育研究目的
卒業の要件
単位制
単位修得 の認定
学科別 卒業単位 配当表
副専攻
開講科目表
時間割作成
聴講登録
共通基礎 科目外国語
現代総合科目・ 自己選択科目
聴講登録
スポーツ 科目
国際交流 科目
コンソーシアム 単位互換制度
インターシップ
卒業論文
進級基準
成績評価
試験
成績評価
GPA
文学部 履修規程
文学部 進級規程
規程集
II. 資格の取得
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派 教師課程
社会教育課程 【任用資格】
社会福祉士 国家試験 受験資格課程
初級スポーツ 指導員
日本心理学会 認定心理士
社会福祉主事 【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者 一覧表

5. スポーツ科目

スポーツ科目の履修は、以下の点を確認したうえで登録・履修してください。また教職を目指す人は、「体育実技」を必ず履修しなければなりません。詳しくは、後述の「II. 資格の取得」を参照してください。

【1】スポーツ科目の種類

- ・現代総合科目 自然生命系
「スポーツ研究演習Ⅰ・Ⅱ」(2単位)
「障害者スポーツ研究演習Ⅰ・Ⅱ」(2単位)
「身体活動Ⅰ・Ⅱ」(1単位)【「Ⅰ」・「Ⅱ」において、一種目のみ受講可】
「身体活動Ⅰ・Ⅱ(障害者スポーツ)」(1単位)

※障害者スポーツ：障害のある人が行うスポーツを体験することで、障害者スポーツへの理解を深めることを目的としています。

また、授業内で障害者スポーツに関わる資格講習や大会等の情報提供を受けることができます。本学在学中に取得可能な、「初級スポーツ指導員」(II. 資格の取得「8. 初級スポーツ指導員」参照)の要件にもなっています。

【2】単位の認定

1セメスターにおける出席状況を重視し、学習態度・意欲などから総合的評価をします。

【3】種目の決定と登録

- ① 前期及び後期における希望科目及び種目は、Web 聴講登録システムから通常どおり登録してください。**(間違った種目を登録することのないよう、必ず開講科目表で確認してください。)**但し、それぞれの科目及び種目では、履修できる定員数を定めています。第1回目の授業で定員を超過している科目及び種目については抽選にて履修者を決定します。抽選漏れした学生は、他の定員超過していない科目及び種目を選択することができます。科目及び種目の変更が生じた学生は、修正登録期間に登録を変更してください。
- ② 聴講登録は、前期科目・後期科目ともに前期の聴講登録期間で行ってください。

【4】その他の注意事項

- ① 実技においては、トレーニングウェアを着用しなければ受講できません。
- ② 運動靴は、体育館とグラウンドの2足制にして、混用しないでください。
- ③ 更衣は、体育館更衣室(1階)を使用してください。なお、貴重品は更衣室内に設置してあるロッカーを利用してください。
- ④ ロッカー使用は受講した授業時間内のみで、絶対に私物化しないでください。
- ⑤ 授業中に負傷、その他身体に異常が発生した場合は、直ちに担当教員に申し出て、その指示に従ってください。
- ⑥ スポーツ科目に関する連絡事項は、教務課掲示板に掲示します。

※教職課程で履修が必要な「体育実技」の種目決定・登録は上記の内容と異なります。履修にあたっては、原則前年度3月に開催した説明会に出席していることが条件となります。

6. 国際交流科目

「6. 国際交流科目」については、**【2018年度以降入学生・2020年度以降編入学生適用】**（水色ページ）第3章「6. 国際交流科目」を参照してください。

7. 大学コンソーシアム京都「単位互換制度」

「7. 大学コンソーシアム京都「単位互換制度」」については、**【2018年度以降入学生・2020年度以降編入学生適用】**（水色ページ）第3章「7. 大学コンソーシアム京都「単位互換制度」」を参照してください。

8. インターンシップ

「8. インターンシップ」については、**【2018年度以降入学生・2020年度以降編入学生適用】**（水色ページ）第3章「8. インターンシップ」を参照してください。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

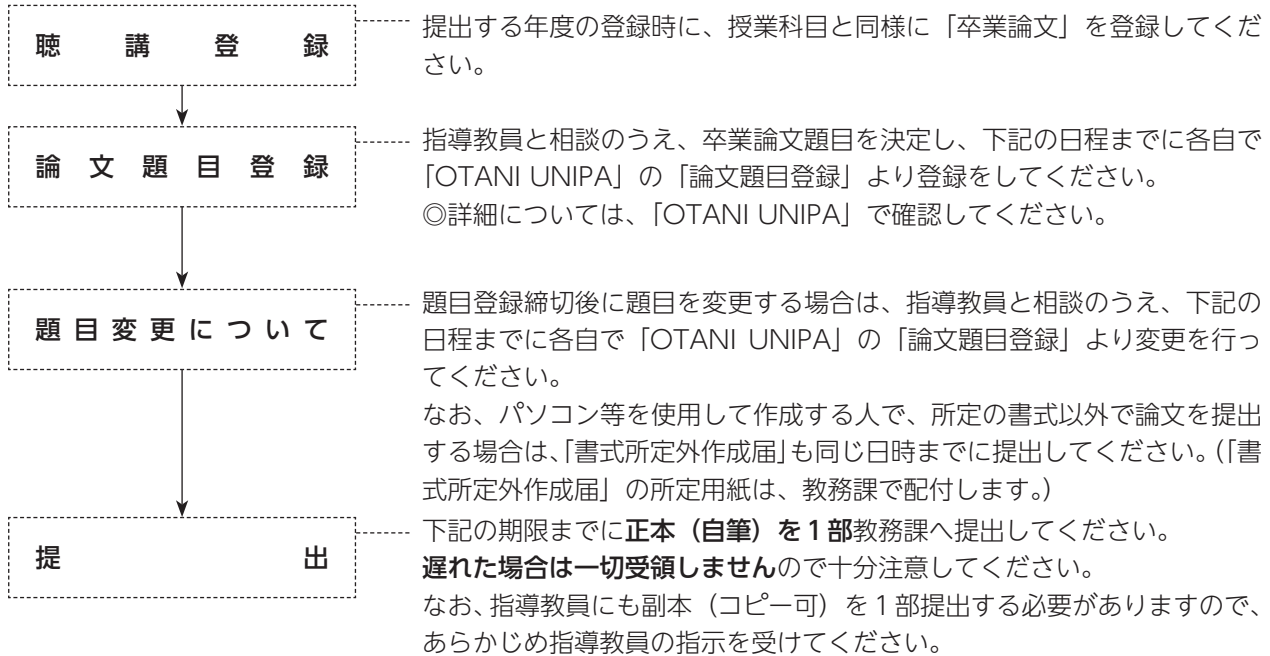
社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

9. 卒業論文

[1] 提出のための手続



[2018年度 卒業論文提出関係締切日程]

	題目届	題目変更届	卒業論文提出
前期卒業	5月7日（月） 17:00 まで	6月25日（月） 17:00 まで	7月2日（月） 16:00 厳守
学年末卒業	7月2日（月） 17:00 まで	12月13日（木） 17:00 まで	1月10日（木） 16:00 厳守

※前年度以前に題目を提出しており、かつ、その題目に変更がない場合は、再度登録する必要はありません。

ただし、指導教員を変更する場合は再度登録してください。

[2] 卒業論文の様式

『卒業論文作成の手引』を参照してください。（5月上旬「OTANI UNIPA」にて配信予定）

【字数 20,000 字以内】

[3] 口述試問

① 卒業論文提出後、口述試問が実施されます。この審査に合格しなければ単位は認定されません。

② 口述試問は、1月中旬から実施されます。詳しい日程表は教務課掲示板に発表します。

（個別には連絡しません。必ず自分で確認してください。）

※その他、詳細については『卒業論文作成の手引』を参照してください。

1. 進級基準

本学では、大谷大学文学部進級規程に基づき、第1学年・第2学年の学年末に進級・仮進級・原級留置の判定、第3学年の学年末に進級・原級留置の判定を行います。

それぞれの基準を充たしていないと進級できませんので、第2章「4. 学科別卒業単位配当表」に基づき卒業所要単位（* 諸課程科目は除く）を充たすよう計画的に履修してください。

* 諸課程科目とは、博物館学課程の「博物館実習」、図書館学課程の「図書館概論」や、真宗大谷派教師課程の「声明作法」等、卒業単位に含まれない諸課程単独開講科目のことです。（Ⅱ. 資格の取得」の「9. 開講科目表」にて確認してください。）

第1学年→第2学年進級基準

第1学年に1年以上在学し、以下の科目・単位数を充たしていること。

[2013年度以降 2017年度以前入学生適用]

進 級		仮 進 級		原 級 留 置
人間学Ⅰ	4単位	人間学Ⅰ	} 8単位以上	仮進級基準に充たない者
大学導入	2単位	大学導入		
第1外国語	4単位	第1外国語		
第2外国語	4単位	第2外国語		
学科導入	2単位	学科導入		
演習Ⅰ	4単位	演習Ⅰ		

第2学年→第3学年進級基準

第2学年に1年以上在学し、以下の科目・単位数を充たしていること。

[2013年度以降 2017年度以前入学生適用]

進 級		仮 進 級		原 級 留 置
人間学Ⅰ	4単位	人間学Ⅰ	} 6単位以上	仮進級基準に充たない者
大学導入	2単位	第1外国語		
第1外国語	4単位	第2外国語		
第2外国語	4単位	演習Ⅱ		
学科導入	2単位	大学導入	2単位	
演習Ⅰ	4単位	学科導入	2単位	
演習Ⅱ	4単位	演習Ⅰ	4単位	
上記の科目を含み卒業所要単位合計 62 単位以上履修済みであること。		上記の科目を含み卒業所要単位合計 30 単位以上履修済みであること。		

第3学年→第4学年進級基準

第3学年に1年以上在学し、以下の科目・単位数を充たしていること。

[2013年度以降 2017年度以前入学生適用]

進 級	原 級 留 置
演習Ⅱ 4単位 上記の科目を含み卒業所要単 位合計 76 単位以上履修済み であること。	進級基準に充たない者

[2015年度以降 2019年度以前編入学生適用]

進 級	原 級 留 置
人間学Ⅰ } 人間学Ⅱ } 10 単位以上 第1外国語 } 第2外国語 } 演習Ⅱ } 上記の科目を含み卒業所要単 位合計 76 単位以上履修済み であること。	進級基準に充たない者

聴講登録
関連日程

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間制作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターンシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

G P A

文学部
履修規程

文学部
進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験

受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者
一覧表

2. 試 験

[1] 定期試験

定期試験は原則として各学期末に行います。

* 次のような場合には、受験資格が与えられません。

- ① 聴講登録をしていない場合
- ② 休学期間中に開講された科目
- ③ 学費未納の場合（全科目）
- ④ 受験中に不正な行為又は不当な行為をした場合
- ⑤ 学生証を携帯していない場合

[2] 試験方法

試験は、科目の内容・性質によって様々な方法で行われます。例えば、試験期間以外に小テストを実施する科目もあります。そのつど教務課の掲示や担当者の指示に従ってください。

試験は筆記・レポート・実技等によって行います。

試験時間帯 ⇒ 定期試験期間中は通常の授業と異なり、下記の時間帯となります。

時限	1	2	3	4	5	6
時間	9:30～10:30	11:00～12:00	13:00～14:00	14:30～15:30	16:00～17:00	17:30～18:30

筆記試験等の受験注意事項（定期試験・追試験・再試験共通）

- ① 学生証は必ず机上に提示してください。
学生証を忘れたとき
⇒ 試験開始前に学生支援課で仮学生証（発行手数料 500 円）の発行を受けてください。
ただし、仮学生証は発行当日のみ有効です。
- ② 遅刻者は、試験開始後 15 分以内に限り監督者の許可を得て受験できます。
- ③ 試験開始後 20 分を経過するまでは退出できません。
- ④ 不正行為は厳禁です。不正行為が発見された場合は、履修規程により受験資格を失うことがあります。また、処分によっては、当該科目はもちろん当該科目以外の全ての科目について、失格となることがあります。
- ⑤ 答案は必ず試験場で提出してください。白紙答案でも持ち帰ることはできません。
- ⑥ 指定した追試験・再試験期間中に受験できなかった場合は、理由を問わずその受験資格を失います。

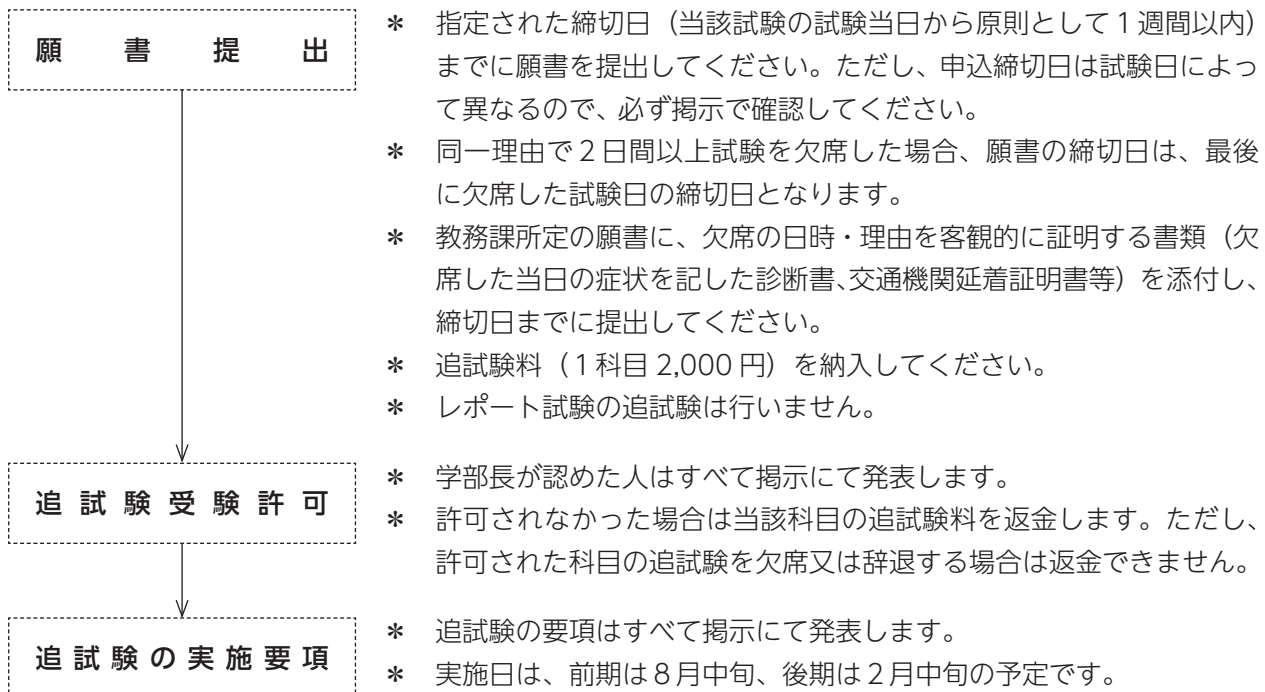
レポート作成の注意事項

- ① 手書きの場合
 - ⇒ 原則として「大谷大学論文用紙」（A4判 200字詰）を使用し、黒又は青のペンで作成してください。科目によって書式・制限枚数等に指定のある場合はその指示に従ってください。
- ② パソコン（ワープロ）等で作成する場合
 - ⇒ 原則としてA4用紙片面印刷にしてください。科目によって用紙・書式・制限枚数等に指定のある場合はその指示に従ってください。感熱紙の使用はできません。
- ③ 表紙 ⇒
 - ・ 教務課で配布している**表紙（緑色の指定用紙）**をつけて綴じてください。
 - ・ 最終ページまで記述した場合は、白紙の論文用紙を裏表紙として付けてください。
 - ・ 表紙の下部にある「レポート受領書」は提出時に受け取り、成績確認まで各自保管してください。
- ④ 提出 ⇒ 提出日時等、締切日は厳守してください。**締切日時を過ぎたものは一切受領しません。**

[3] 追試験

定期試験を受験する資格はあるが、病気など正当と認められる事由で定期試験を欠席した場合に限り、以下のような手続きにより追試験を受けることができます。事由の詳細は第5章「1. 文学部履修規程」を参照してください。

願書提出から試験日までの手順



聴講登録
関連日程

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

卒業要件及び開講科目

単位制

単位修得の認定

学科別卒業単位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎科目外国語

現代総合科目・自己選択科目

スポーツ科目

国際交流科目

コンソーシアム単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

文学部履修規程

文学部進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派教師課程

社会教育課程【任用資格】

社会福祉士国家試験受験資格課程

初級スポーツ指導員

日本心理学会認定心理士

社会福祉主事【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者一覧表

[4] 再試験 **2017年度以前入学生・2019年度以前編入学生のみ適用**

文学部の卒業年次生のみを対象として、以下のような基準に従い教授会の議を経て学部長が決定して、再試験の受験が許可されます。再試験は学期ごとに実施します。

受験が許可されるための基準

【前期科目再試験】

① 前期卒業見込み者の場合

卒業資格に必要な科目の内、不足科目が3科目以内であり、かつその科目の成績がF判定であること。

② 学年末卒業見込み者の場合

前期成績評価の結果、学年末に卒業が見込まれなくなった者で、その不足科目が、後期登録修正では不可能なときに、その不足科目が3科目以内であり、かつその科目の成績がF判定であること。

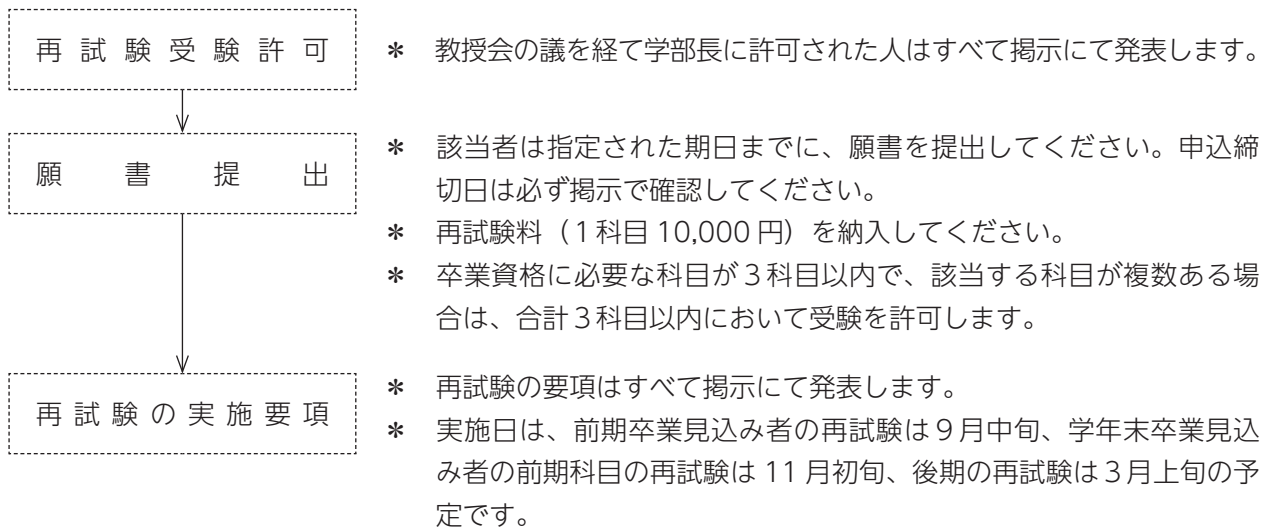
【後期科目再試験】

① 卒業資格に必要な科目の内、不足科目が3科目以内であり、かつその科目の成績がF判定であること。

【以下に該当する者や科目は許可されません】

- ① 当該学期以外の不合格科目
- ② 再試験を受験し、一旦不合格となった科目
- ③ 再試験を欠席した者
- ④ 当該年度定期試験期間中に不正行為を行った者
- ⑤ 演習Ⅲ・Ⅳ、卒業論文、諸課程科目及び卒業に要さない科目

【受験するまでの手順】



再試験は卒業を前提として行うため、複数科目受験し不合格科目が生じて卒業不可となった場合は、他の受験科目が合格であっても、再試験の成績は全て無効となります。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

単位制

単位修得
の認定

学科別
卒業単位
配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎
科目外国語

現代総合科目・
自己選択科目

スポーツ
科目

国際交流
科目

コンソーシアム
単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

試験

成績評価

GPA

文学部
履修規程

文学部
進級規程

規程集

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派
教師課程

社会教育課程
【任用資格】

社会福祉士
国家試験
受験資格課程

初級スポーツ
指導員

日本心理学会
認定心理士

社会福祉主事
【任用資格】

開講科目表

開講科目表

開講科目表

開講科目表

巻末
科目担当者
一覧表

3. 成績評価

[1] 評価

成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とします。なお、履修成績は次のように評価します。

評価	評点	判定基準
合格	S	100点～90点 特に優れた成績を示したもの
	A	89点～80点 優れた成績を示したもの
	B	79点～70点 妥当と認められる成績を示したもの
	C	69点～60点 合格と認められる最低限の成績を示したもの
不合格	F	59点以下 合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
評価不能	K	— 授業参加や試験について棄権・放棄をしたとみなされ、 評価することができないもの

[2] 成績の通知

本学では年2回「履修単位通知書」を学生本人に配付しています。各自所定の期日に受領し、成績を確認してください。

また、受け取りの際は、本人確認のため**学生証の提示が必要です**。

【前期分】：前期科目・8月までに完結する集中講義の成績

【後期分】：後期科目・通年科目・9月以降に完結する集中講義の成績

[3] 履修単位通知書の見方

- ① 前学期までに聴講登録した科目の成績が記載されています。
- ② 「科目名称」欄に「卒業所要配当区分」を記載しています。修得した各科目がそれぞれの配当区分に集計されているか確認してください。ただし、コースが決定していないと集計が振り分けられませんので、第1学年の成績については、演習Ⅰ及び一部の科目を除いて各学科科目に集計されない学科があります（社会学科・文学科）。第2学年前期終了時に配付する「履修単位通知書」で改めて確認してください。
- ③ 成績評価のうち「N」は他大学等の認定科目であることを表します。また、「J」は修練等の受講を表します。

[4] 成績評価に関する問い合わせ

前期：3月29日（木）～4月12日（木）

後期：9月20日（木）～10月4日（木）

（受付時間…窓口開室時間 受付場所…教務課）

成績評価について確認したい場合、この期間に文書にて問い合わせをすることができます。その場合、提出した答案（レポート）や授業への出席日数等を含め、具体的・客観的な理由を所定の用紙に記入の上、提出することになります。

この問い合わせは成績の確認を求めるものであり、「救済措置を依頼する」「個人的事情の考慮を依頼する」という内容は、受付できません。

成績報告書【履修単位通知書】の見方

※ 2018 年度より履修単位通知書の記載形式が変更となりましたので、注意してください。

履修単位通知書												
大谷大学		文学部		文学部		学年: 1年		年 月 日 生 性別: .		年 月 日 通常入学		
学籍番号: .		氏名: .										
【共通基盤科目】	科目名	単位	評価	年度	学期	教員名	科目名	単位	評価	年度	学期	教員名
＜人間学 I＞	人間学 I a	2	A	2017	前期	上野 牧生						
＜大学導入＞	学びの発見 1	2	A	2017	前期	M. J. CONWAY						
【単位修得状況】												
科目分類	卒業所要	卒業要件	修得	未修得	未履修	未履修	未履修	未履修	未履修	未履修	未履修	未履修
卒業要件単位	124	18	21	8	2	0	2	2	2	8	0	2
修得単位数												
科目分類	司書教諭	社会教育	博物館学	図書館学	大谷派	合計						
卒業要件単位	0	0	0	0	0	21						
修得単位数												

【1】登録科目・修得科目

科目名	単位	評価	年度	学期	教員名
【共通基礎科目】					
＜人間学 I＞					
人間学 I a	2	A	2017	前期	上野 牧生
＜大学導入＞					
学びの発見 1	2	A	2017	前期	M. J. CONWAY

- ・聴講登録をした科目及び既に修得済みの科目を記載しています。
- ・不合格となった科目も、それぞれの科目区分に記載していますので注意してください。

【2】単位修得状況

【単位修得】													
科目分類	卒業所要	共通基盤						学科専門					
		人間学 I	人間学 II	大学導入	外国語 1	外国語 2	学科導入	演習 I	演習 II	演習 III	演習 IV	概論	
卒業要件単位	124	18	4	4	2	4	4	66	2	4	4	4	4
修得単位数	21	8	2	0	2	2	2	8	0	2	0	0	0
科目分類							合計						
卒業要件単位	0	0	0	0	0	0	21						
修得単位数													

- ・修得した単位数が、科目区分ごとに集計されています。
- ・「卒業要件単位数」は、科目区分ごとの卒業最低履修単位を示しています。
- ・「修得単位数」は、修得したすべての単位数が集計されています。
- ・卒業に必要な単位数（124 単位）と既に修得した単位数を示します。

※この例は、文学部で卒業に必要な 124 単位中、21 単位修得していることを示します。

【3】成績評価

- ・詳細は、前頁の「3. 成績評価」を確認してください。

I. 履修要領

教育研究目的

卒業の要件

卒業要件及び開講科目

単位制

単位修得の認定

学科別卒業単位配当表

副専攻

開講科目表

時間割作成

聴講登録

共通基礎科目外国語

現代総合科目・自己選択科目

聴講登録

スポーツ科目

国際交流科目

コンソーシアム単位互換制度

インターシップ

卒業論文

進級基準

成績評価

試験

成績評価

GPA

規程集

文学部履修規程

文学部進級規程

II. 資格の取得

博物館学課程

図書館学課程

真宗大谷派教師課程

社会教育課程【任用資格】

社会福祉士国家試験受験資格課程

初級スポーツ指導員

日本心理学会認定心理士

社会福祉主事【任用資格】

開講科目表

巻末

科目担当者一覧表

【4】 GPA

通算GPA : 2.95
取得単位数 : 150

GPA情報

- ・在学期間に取得した通算 GPA を表示しています。
- ・詳細は、次頁の「4. GPA」を確認してください。

【5】 副専攻

				所要外			
自己選択				認定外		教職課程	
1	2	自己選択	認定自己				
1	24						
2	2	2	0	0	0	0	0

- ・取得に必要な単位数及び既に修得した単位数を示しています。
- ・副専攻は卒業要件ではありませんので注意してください。

4. GPA

GPA制度

①GPAとは

GPAは、Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略で、登録した全科目の成績の平均を数値で表し、学業結果を総合的に判断するためのものです。

②目的

GPAは、Semesterごとに計算し「履修単位通知書」に表記し学生の皆さんにお伝えします。GPAを利用し成績が算出されることにより、Semesterごとの学習成果と推移がより明確となり各自の履修状況の確認が容易になります。これにより、皆さんの成績に関する自己管理と綿密な履修計画並びに学習意欲の向上を期待しています。

③GPAの計算方法

計算方法は、登録した各科目の成績（グレード：S=4、A=3、B=2、C=1、F・K=0）にその科目の単位数を乗じた数値の総和を総登録単位数で除します。小数点以下第3位は四捨五入。

評価	評点	グレード	判定基準	
合格	S	100点～90点	4	特に優れた成績を示したもの
	A	89点～80点	3	優れた成績を示したもの
	B	79点～70点	2	妥当と認められる成績を示したもの
	C	69点～60点	1	合格と認められる最低限の成績を示したもの
不合格	F	59点以下	0	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
評価不能	K	—	0	授業参加や試験について棄権・放棄をしたとみなされ、評価することができないもの

計算式

$$\frac{(S \text{ の修得単位数} \times 4) + (A \text{ の修得単位数} \times 3) + (B \text{ の修得単位数} \times 2) + (C \text{ の修得単位数} \times 1)}{\text{総履修登録単位数 (F・Kを含む)}}$$

④GPAに算入されない科目

- ・卒業所要に含まれない諸課程科目
- ・留学、単位互換等他大学で取得した科目で本学で認定された「N」評価の科目
- ・「履修辞退」により評価欄に「W」と表示された科目（2017年度以前に辞退した科目のみ）
- ・「S・A・B・C・F・K」以外で評価される科目

⑤履修辞退

実際に授業を受講した結果、望ましい評価が得られないと判断した科目、もしくは登録時の予想とは異なったため受講を続けたくない科目等について、前期は5月末、後期は10月末に履修辞退期間を設けています。ただし、必修科目でクラス指定の科目を辞退すると進級・卒業見込みが立たなくなるため注意してください。